

# はじめに

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、カノーブス株式会社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

## カノーブス株式会社

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

テクニカルサポート

078-992-6830

10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

※土、日、祝日および当社指定休日を除く

## ご注意

- (1) 本機の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本機の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの事がありましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本機の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本機付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) カノーブス、CANOPUS/カノーブスおよびそのロゴは、カノーブス株式会社の登録商標です。
- (8) DivX および DivX Pro ロゴは、アメリカ合衆国・その他諸国における DivX Networks 社の商標または登録商標です。
- (9) Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- (10) Microsoft、Windows は米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。
- (11) Windows Media はアメリカ合衆国・その他諸国におけるマイクロソフト・コーポレーションの商標または登録商標です。
- (12) DTS および DTS Digital Surround は、デジタルシアターシステムズ社の商標です。
- (13) Kodak Picture CD COMPATIBLE は、Eastman Kodak Company の登録商標です。
- (14) Intel および Pentium は米国インテル社の登録商標です。

## 表記について

- ・本書に記載されていない情報が記載される場合がありますので、ディスクに添付のテキストおよび HTML ファイルも必ずお読みください。
- ・本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- ・本書では Microsoft® Windows® 2000 operating system および Microsoft® Windows® XP operating system を Windows 2000、Windows XP (Home Edition および Professional の総称) と表記します。
- ・本書では、再生するディスクの種類による操作の違いを、次のマークで示しています。

DVD : DVD の操作に関する説明

CD : 音楽用 CD の操作に関する説明

VCD : ビデオ CD の操作に関する説明

SVCD : スーパービデオ CD の操作に関する説明

# はじめに

## 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニターやテレビに表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでにされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあられる方は、本機を使用される前に必ず医師と相談してください。

また、ヘッドホンを使用して、大きな音量で長時間視聴しないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

## 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

## 安全上のご注意

### 絵表示について

本機を正しくお使いいただくために次のような表示をしています。  
内容を理解してから本文をよくお読みください。

#### 警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

#### 注意

取り扱いを誤ると、けがや周囲の物品を損傷するおそれのある内容を示しています。

 は注意を促す事項を示しています。

 はしてはいけない行為を示しています。

 はしなければならない行為を示しています。

## 警告

### ■設置するとき



直射日光の当たる場所に置かない

火災

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。火災の原因となります。



ほこりや湿気の多い場所では使用しない

禁止

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。

### ■使用するとき



煙が出た状態で使用しない

プラグを抜く

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が消えたことを確認してから、お買い上げの販売店、もしくは当社テクニカルサポートまでご連絡ください。



製品が破損した状態で使用しない

プラグを抜く

本機を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。

製品が破損した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、もしくは当社テクニカルサポートまでご連絡ください。



雷が鳴り出したら使用しない

禁止

本体やプラグには触れないでください。感電の原因となります。

## はじめに



分解禁止

### 分解・改造しない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。またレーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げの販売店、もしくは当社テクニカルサポートまでご依頼ください。



禁止

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、もしくは当社テクニカルサポートまでご連絡ください。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。

電源コードをコンセントから抜くときは、プラグ部分を持ってください。コードが傷んだら、お買い上げの販売店、もしくは当社テクニカルサポートまで交換をご依頼ください。



接触禁止

### ぬれた手で電源プラグに触らない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



禁止

### 国外では使用しない

本機は、日本国内での使用を前提として設計されています。

海外では電源電圧が異なりますので使用できません。使用すると、火災や感電の原因となります。

## ⚠️ 注意

### ■ 設置するとき



注意

#### 不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。

落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。



注意

#### コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは整理して配置してください。

足にひっかけると、けがをしたり、製品の故障の原因となります。



プラグを抜く

#### 他の製品と接続するときは、電源プラグを抜く

テレビやオーディオ製品と接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源が入った状態で接続すると、感電やけがの原因となります。



注意

#### 電源プラグはコンセントに確実に差し込む

電源プラグは、根元までコンセントに差し込んでください。

差し込みが不完全なときは、ほこりが付着して火災の原因となります。また、刃に触れると感電の原因となります。



注意

#### 強い電波を発生するものの近くに置かない

携帯電話やトランシーバーなどの強い電波を発生する製品の近くに置かないでください。

電波の影響で、本機が動かなくなります。

## ■使用するとき



注意

### 挿入口に異物や手を入れない

ディスクの挿入口に異物や手をいれないよう、ご注意ください。  
火災やけがの原因となります。特にお子様がいらっしゃるご家庭はご注意ください。



火災

### 本機を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。  
通風孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。



プラグを抜く

### お手入れの際は電源を切る

接続・お手入れの際は、電源プラグを抜いてください。  
感電や製品の故障の原因となります。



プラグを抜く

### 長時間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く

使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ■電池について



注意

### 正しい向きで使用する

電池をリモコンにセットするときは、極性（+と-）に注意し、表示どおりに入れてください。  
間違えると、電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因となります。



禁止

### 古い電池と新しい電池を一緒に使用しない

電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。



禁止

### 加熱・分解しない

電池を加熱・分解しないでください。  
電池の破裂・液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。



強制

### 乳幼児の手の届かないところに置く

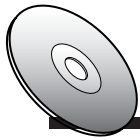
電池は、乳幼児の手の届かないところにおいてください。  
万が一飲み込んだときは、直ちに医師に相談してください。



禁止

### 液が漏れたときは素手で触らない

電池から液漏れした場合は、素手で触らないでください。  
皮膚の炎症の原因となります。  
万が一、素手で触れたり目に入ったときは、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、医師に相談してください。



# もくじ

## ご使用の前に

本機の特長 .....	1
使用上のお願い.....	1
再生できるディスク .....	3
パッケージの確認.....	6
リモコンの準備.....	7
各部の名称とはたらき .....	8

## 接続のしかた

テレビに接続する .....	12
AV アンプに接続する .....	15

## DVD/CD の再生

DVD/CD を再生する .....	17
早送り / 早戻しする .....	19
一時停止（コマ送り再生）する.....	20

## ディスク情報を確認する

情報を確認・変更する .....	21
番号を入力して再生する .....	23

## DVD/CD のいろいろな再生

DVD のメニューから再生する .....	24
ビデオ CD のメニューから再生する .....	25
場面・曲を飛び越し再生する .....	26
場面・曲を繰り返し再生する .....	27
お好みの 2 点間を繰り返し再生する .....	28
お好みの位置から再生する .....	29
お好みの順序で再生する .....	31

**DVD/CD をもっと楽しむ**

音声を切り替える .....	33
字幕を切り替える .....	34
アングルを切り替える .....	35
ズーム再生する .....	36
高画質で楽しむ（プログレッシブ再生） .....	37
Dolby Pro Logic II でサラウンドを楽しむ .....	37

**MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生**

MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルについて .....	38
データディスクの作成について .....	38
ファイルリスト画面について .....	39
ファイルを再生する .....	40
プレイモードを選んでファイルを再生する .....	43
ファイルをプログラム再生する .....	45

**JPEG ファイル /Kodak Picture CD の再生**

JPEG ファイル /Kodak Picture CD について .....	47
ファイルを再生する .....	47
プレイモードを選んでファイルを再生する .....	51
ファイルをプログラム再生する .....	52
スライドショーを楽しむ .....	52

**機能設定**

設定のしかた .....	55
一般設定をする .....	57
オーディオ設定をする .....	59
ビデオ設定をする .....	67
お好みの設定をする .....	70
パスワード設定をする .....	72

# もくじ

---

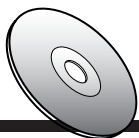
## 「かんたん換太郎」を使う

はじめに .....	73
ソフトウェアのインストール .....	74
各部の名称とはたらき .....	79
使いかた .....	82

## その他

故障かな?と思ったら .....	84
主な仕様 .....	88
索引 .....	90
製品のお問い合わせ窓口について .....	92





# ご使用前に

## 本機の特長

- 市販のDVD や音楽 CD、ビデオ CD やスーパービデオ CD の再生にも対応！  
→ 「再生できるディスク」(3 ページ)
- DivX、MP3、MPEG などの再生も可能！  
→ 「MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生」(38 ページ)
- ドルビーデジタル・DTS 対応 (デジタル出力) 5.1 チャンネルサラウンドの音声出力が可能！  
→ 「AV アンプに接続する」(15 ページ)
- コンポジット・S ビデオ・コンポーネントなど多彩なビデオ出力端子を装備！  
→ 「各部の名称とはたらき」の「背面」(9 ページ)
- リモコンで簡単操作！  
→ 「各部の名称とはたらき」の「リモコン」(10 ページ)
- アプリケーションソフトウェア「かんたん換太郎」が付属！  
→ 「「かんたん換太郎」を使う」(73 ページ)

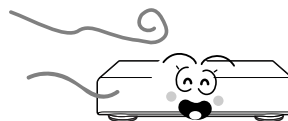
## 使用上のお願い

### 結露について

結露とは、寒いところから暖かいところへ急激に移動したときに製品の内部に付く水滴のことです。次のような状況や場所では、結露が発生しやすくなります。

- ・寒いところから暖かいところへ急激に移動したとき
- ・暖房を始めたばかりの部屋
- ・湿気が多い場所
- ・エアコンのそばなど、直接冷風が当たる場所

内部に結露が付いた状態で本機を動作させると、ディスクや部品が傷んだり、正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を入れて内部が乾燥するまで、しばらく操作しないでください。



### お手入れ

プレーヤー本体やリモコンは、柔らかい布で軽く拭き取ります。汚れがひどいときは、中性洗剤を水で薄めた水に柔らかい布を浸してよく絞ってから、汚れを拭き取ります。そのあと、柔らかい布で水分を軽く拭き取ってください。

### ！ご注意！

- ・ベンジンやシンナー、アルコールなどの揮発性溶液で拭かないでください。表面が変質したり、塗料がはげる場合があります。

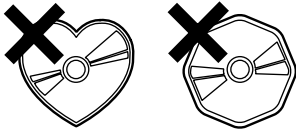
## ご使用前に

### ディスクの取り扱いとご注意

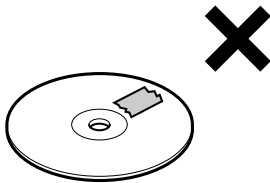
#### ■使用できないディスク

以下のディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。

- ・ハート型や多角形型など特殊形状のディスク



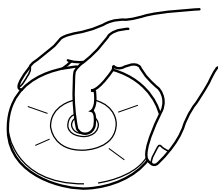
- ・演奏面やラベル面に紙やシールが貼ってあるディスク



#### ■取り扱い

演奏面に手が触れないように持ちます。

演奏面に傷がついたり汚れが付着すると、音飛びや画質・音質低下の原因となります。



#### ■お手入れ

ディスクが汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布で拭き取ります。ディスクの中心から外へ軽く拭いてください。



汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で軽く水分を拭き取ってください。

#### ！ご注意！

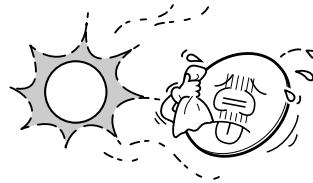
- ・ベンジンやシンナーなどの揮発性溶液、またはアナログレコードクリーナーや帯電防止剤などは使用しないでください。

#### ■保管

ディスクは、必ず専用ケースに入れ、立てて置いてください。ディスクが反って使用できなくなります。

また、以下のような場所へは置かないでください。
















- ・直射日光の当たる場所（車のダッシュボードなど）



- ・極端に温度が高くなる場所や、低くなる場所（暖房器具のそばやエアコンの送風口など）

## 再生できるディスク

### 再生できるディスクの種類

ディスクの種類	□	ゴ
DVD-Video* <sup>1</sup> リージョン番号が「2」もしくは「ALL」のDVD		
DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RW/DVD-ROM* <sup>2</sup>	    	
ビデオ CD		
音楽 CD* <sup>3</sup>		
CD-R/CD-RW/CD-ROM	  	
Kodak Picture CD		
スーパービデオ CD		

\*1

本書では、DVD-Video を DVD と記載します。

\*2

VR モードで記録された DVD (DVD-VR) は再生できません。

\*3

8cm 用アダプタ (オーディオ CD 用) は使用しないでください。故障の原因となります。

#### ! ご注意 !






- ・ディスクのラベル側に上記ロゴマークが入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外のディスクを使用された場合は、再生できない場合があります。または再生できても画質・音質は保証いたしません。
- ・ディスクの記録状態・傷・汚れによって再生できない場合があります。
- ・コピーコントロール CD など CD の標準規格に準拠していないディスクの再生は、保証いたしません。

#### MEMO

- ・ファイルをディスクに記録する際の注意事項は、「データディスクの作成について」(38ページ)をご覧ください。

## ご使用の前に

### DVD のディスクに表示されているマーク

意 味	ロ ゴ	メ モ
音声記録方式		複数の音声トラック(言語)が収録されていることを示します。マーク内の数字は、ディスクに記録されている音声数です。
サブタイトル		ディスクに収録されている字幕の言語数を示します。マーク内の数字は、ディスクに記録されている字幕の言語数です。
リージョン番号		再生可能な地域番号を示します。 日本(本機)で再生可能なリージョン番号は、「2」および「ALL」です。 それ以外のリージョン番号のディスクは再生できません。
マルチアングル		複数のアングルで収録されていることを示します(マルチアングル機能)。マーク内の数字は、アングル数です。
映像アスペクト比		映像の縦横比を示します。左図の場合は、16:9の映像からレターボックス(4:3)に変換できることを示します。

### ビデオ CD の PBC 機能

ビデオ CD には次の2種類があり、それぞれ操作や機能が異なります。

#### ■バージョン 1.1 (PBC 機能なし)

音楽用 CD と同じような操作で、映像と音声を楽しむことができます。

#### ■バージョン 2.0 (PBC 機能あり)

バージョン 1.1 と同じ操作方法に加え、テレビ画面に表示される対話型メニューなどを使って再生できます。PBC 対応ソフトウェアの使いかたはディスクによって異なりますので、付属の説明書にしたがって操作してください。

#### ! ご注意 !

- ・本機の PBC 機能をオンにしていると、通常の動作よりも PBC 機能が優先されます。そのため PBC 対応のビデオ CD 再生時は、本機の設定(操作)が機能しない場合があります。

#### MEMO

##### PBC 機能とは?

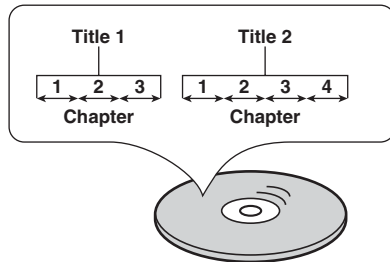
- ・PBC とは、プレイバックコントロール (Play Back Control) の略称です。画面に表示されるメニューを見ながら見たい場面や情報を対話形式で選択したり、検索機能を使って再生できる機能です。

## ディスクの構成

ディスクに収録されているデータの名称は、ディスクの種類によって次のように異なります。

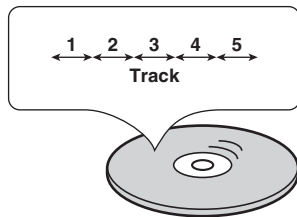
### ■ DVD

DVDに収録されている映像は、複数の「チャプター」と、複数のチャプターをまとめた「タイトル」で構成されています。



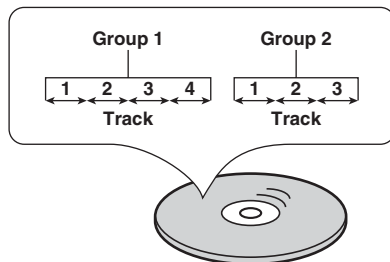
### ■音楽 CD・ビデオ CD・スーパービデオ CD

これらのCDに収録されている映像や音楽は、複数の「トラック」で構成されています。



### ■ CD-R/-RW・DVD-R/-RW・DVD+R/+RW

これらのメディアに収録されている映像や音楽、静止画は、複数の「トラック」と、複数のトラックをまとめた「グループ」で構成されています。



## ご使用前に

### パッケージの確認

ご使用前に、次の同梱物が揃っていることをお確かめください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一、不足しているものがありましたら、下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

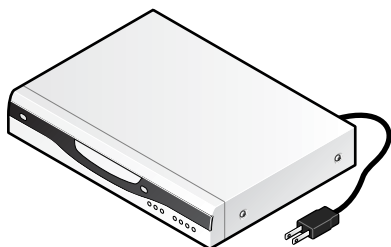
カノープス カスタマーサポート

電話：078-992-5846

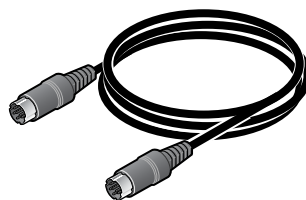
※月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00

土日祝日および当社指定休日を除く

プレーヤー

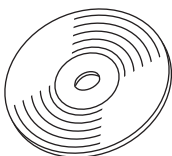


Sビデオケーブル

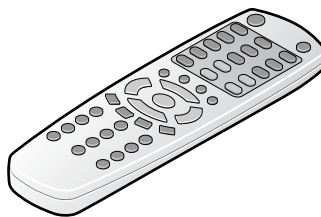


アプリケーション CD

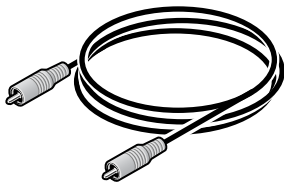
※「かんたん換太郎」が付属



リモコン

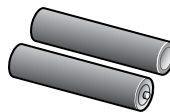


ビデオケーブル



乾電池（単4形）× 2

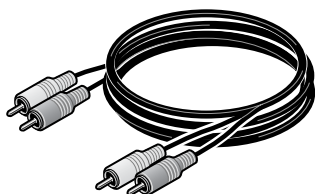
※動作確認用



取扱説明書（本書）

ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼保証書

オーディオケーブル

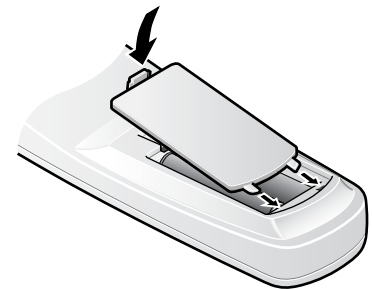
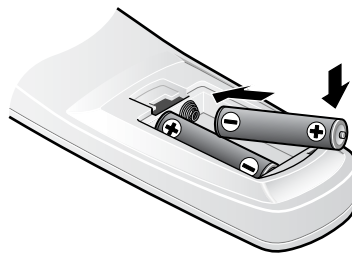
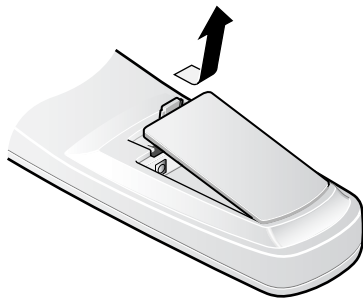


## リモコンの準備

### 乾電池のセット

リモコンをご使用になる前に、乾電池をセットしてください。

- 1 リモコン背面のカバーを外す
- 2 電池を入れる  
※ 極性（+と-）を確認してください。
- 3 カバーをはめ込む

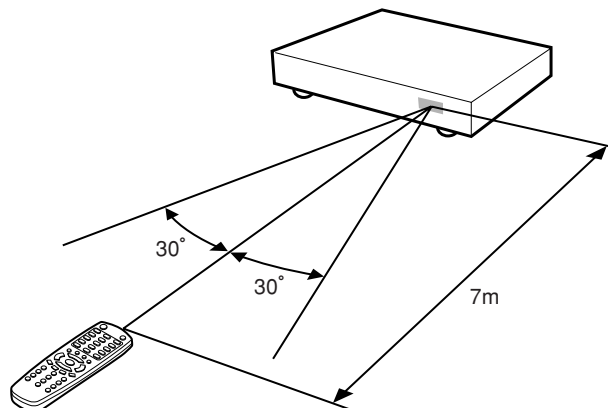


#### !ご注意!

- ・種類の異なる電池や、古い電池と新しい電池を一緒に使わないでください。
- ・付属の電池は動作確認用のため、通常より寿命が短い場合があります。
- ・長時間ご使用にならないときは、電池を取り出しておいてください。液が漏れる場合があります。
- ・乾電池を廃棄するときは、+極と-極をセロハンテープなどで絶縁し、各市町村の指示にしたがって廃棄してください。

### リモコンの有効範囲

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて操作します。リモコンの有効範囲は、下図のとおりです。



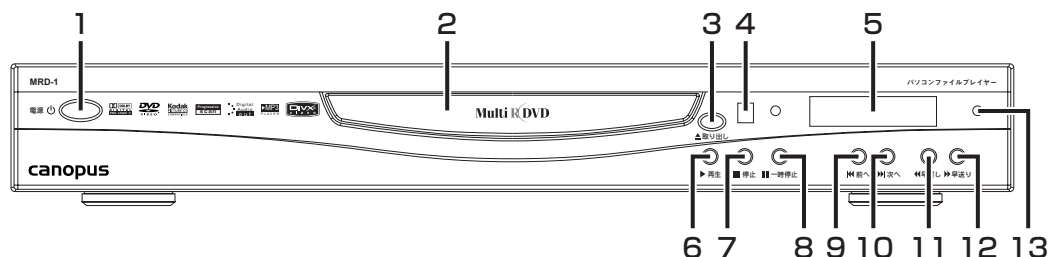
#### !ご注意!

- ・リモコンの受光部に、直射日光やインバータ蛍光灯などの強い光を直接当てないでください。誤動作の原因となります。

## ご使用の前に

### 各部の名称とはたらき

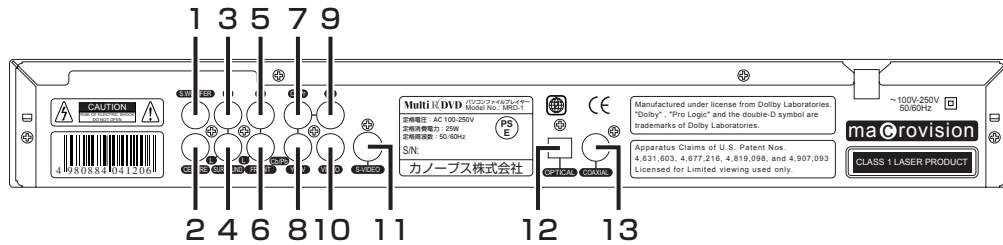
#### 前面



- 1. 電源ボタン (主電源)**  
本機の主電源をオン/オフします。
- 2. ディスクトレイ**  
ディスクをセットします。
- 3. 取り出しボタン**  
ディスクトレイを開閉します。
- 4. リモコン受光部**  
リモコンを操作するときは、受光部に向けて操作してください。
- 5. 表示部**  
本機の状態やトラック(チャプター)番号などを表示します。詳細は、「表示部」(9ページ)をご覧ください。
- 6. 再生ボタン**  
ディスクを再生します。
- 7. 停止ボタン**  
再生を停止します。
- 8. 一時停止ボタン**  
再生を一時停止します。映像の一時停止中に押すと再生に戻ります。
- 9. 前へボタン**  
一つ前のトラック(チャプター)を再生します。
- 10. 次へボタン**  
一つ後ろのトラック(チャプター)を再生します。
- 11. 早戻しボタン**  
映像や音楽を早戻し(巻戻し)します。
- 12. 早送りボタン**  
映像や音楽を早送りします。
- 13. スタンバイランプ**  
本体の電源(主電源)がオンの状態でリモコンで電源をオフにした場合など、スタンバイ状態のときに点灯します。

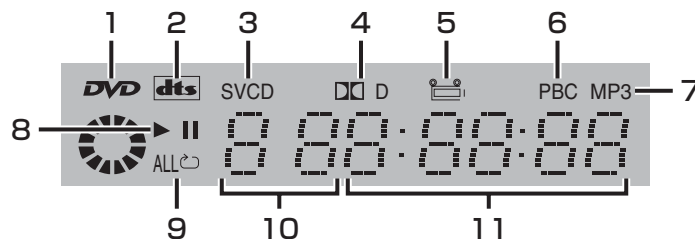


背面



- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1. サブウーファー出力端子 | 7-9. コンポーネントビデオ出力端子 |
| 2. センター出力端子    | 10. コンポジットビデオ出力端子   |
| 3. 右サラウンド出力端子  | 11. Sビデオ出力端子        |
| 4. 左サラウンド出力端子  | 12. 光デジタル出力端子       |
| 5. 右フロント出力端子   | 13. 同軸デジタル出力端子      |
| 6. 左フロント出力端子   |                     |

表示部

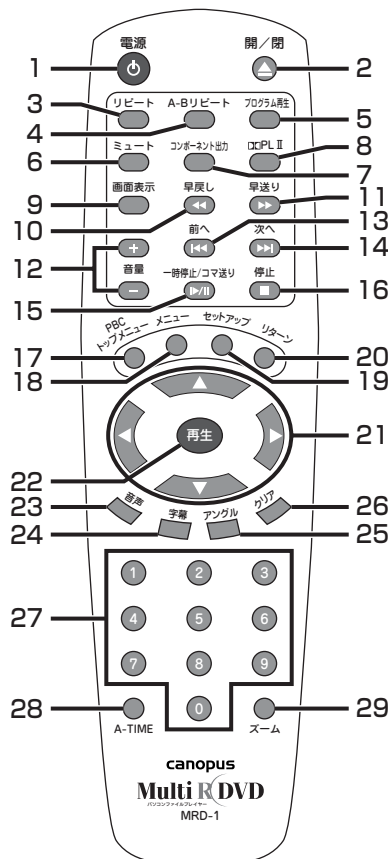


- |  |   |
|--|---|
| 1. DVD 表示<br>DVDがディスクトレイにセットされていると、点灯します。              | 6. PBC 表示<br>PBC 機能付きビデオ CD の再生中に点灯します。<br>※本機のPBC機能がオンの場合のみ表示されます。 |
| 2. DTS 表示<br>DTSサラウンド対応ディスクを再生すると、点灯します。               | 7. MP3 表示<br>MP3や音声付きDivX ファイルの再生中に点灯します。                           |
| 3. ディスク表示<br>ディスクトレイにセットされているCDの種類(CD/VCD/SVCD)を表示します。 | 8. 再生表示<br>ディスクの再生中に点灯します。  |
| 4. ドルビーデジタル表示<br>ドルビーデジタルサラウンド対応ディスクを再生すると、点灯します。      | 9. リPEAT表示<br>リPEAT再生時に点灯します。ディスクをリPEATするときには、マークの横に「ALL」を表示します。    |
| 5. マルチアングル表示<br>複数のアングルが収録された場面の再生中に点灯します。             | 10.トラック番号表示<br>再生しているトラック(チャプター)の番号を表示します。                          |
|  | 11.再生時間表示<br>現在再生しているディスクの再生(経過)時間を表示します。                           |

# ご使用の前に

## リモコン

各部の名称とはたらき



### 1. 電源ボタン

本機の電源をオン/オフします。

### 2. 開/閉ボタン

ディスクトレイを開閉します。

### 3. リピートボタン

チャプターやトラックを繰り返し再生します。ボタンを押すたびに、次のようにリピートする範囲を切り替えます。

#### ・DVD

チャプター→タイトル→ディスク (ALL) →オフ→チャプター→...

#### ・音楽 CD・ビデオ CD など

トラック→ディスク (ALL) →オフ→トラック→...

#### ・MPEG・MP3・DivX・XviD・WMA・JPEG

シングルリピート→フォルダリピート→フォルダ→シャッフル→ランダム→シングルプレイ→シングルリピート→...

※リピート再生する場合は、本機のPBC機能をオフにしておいてください。PBC機能をオフするには、PBC/トップメニューボタンを押します。

### 4. A-Bリピートボタン

リピートの開始点 (A) と終了点 (B) を指定します。リピートの開始点でボタンを押し、終了点でもう一度ボタンを押すと、AB間をリピート再生します。もう一度ボタンを押すと、AB間のリピート再生を解除します。

※同じタイトル内 (トラック内) にのみ A・B 点を設定できます。

### 5. プログラム再生ボタン

再生するトラックやチャプターの順番を設定します。停止ボタンを押す、または一度ディスクを取り出すと、プログラムは消去されます。

### 6. ミュートボタン

音声を消音します。

### 7. コンポーネント出力ボタン

ボタンを押すたびに、TVモードをプログレッシブスキャン、またはインタレースに切り替えます。

## 8. ドルビープロロジックII ボタン

ボタンを押すたびに、ドルビープロロジックII (音声方式) のオン/オフを切り替えます。

## 9. 画面表示ボタン

再生中に再生情報をテレビ画面に表示します。ボタンを押すたび、再生情報の時間表示方法を切り替えます。

通常の表示に戻るには、再生情報が画面上から消えるまで、数回ボタンを押してください。

## 10. 早戻しボタン

映像や音楽を早戻し (巻戻し) します。

## 11. 早送りボタン

映像や音楽を早送りします。

## 12. 音量ボタン

ボリュームを調整します。1~20の範囲で変更できます。

## 13. 前へボタン

一つ前のチャプター (またはトラック) へジャンプします。

## 14. 次へボタン

次のチャプター (またはトラック) へジャンプします。

## 15. 一時停止 / コマ送りボタン

再生中に押すと、映像 (または音楽) が一時停止します。映像の一時停止中にもう一度ボタンを押すと、映像がコマ送りされます。

※再生ボタンを押すと、一時停止を解除し、通常の再生に戻ります。

※音楽CDの場合は、一時停止中にもう一度一時停止 / コマ送りボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

※MPEG/DivX/XviD再生の場合、コマ送りはできません。

## 16. 停止ボタン

再生を停止します。停止中に再生ボタンを押すと、停止した位置から再生します。

※2回続けて停止ボタンを押すと、停止した位置を記憶せずに停止します。

## 17.PBC/ トップメニューボタン

本機のPBC機能をオン/オフします。

DVDの場合は、トップ (タイトル) メニューを表示します。

※ディスクにPBC機能やトップ (タイトル) メニューが収録されていない場合は、ボタンを押しても機能しません。

## 18.メニューボタン

DVDのディスクメニューを表示します。PBC機能付きビデオCDの場合は、メニューを表示します。

## 19.セットアップボタン

設定画面を表示します。設定画面表示中に押すと、通常の画面へ戻ります。

## 20.リターンボタン

一つ前のメニューに戻ります。

## 21.カーソルボタン

ディスクや本機のメニュー項目を選択します。

## 22.再生ボタン

ディスクを再生します。設定画面表示中は、本機やディスクの設定を確定します。

## 23.音声ボタン

ボタンを押すたびに音声言語を切り替えます。

## 24.字幕ボタン

ボタンを押すたびに字幕言語を切り替えます。

## 25.アングルボタン

複数のアングルが記録された場面で押すと、アングルが切り替わります。

## 26.クリアボタン

入力した内容を消去します。

## 27.数字ボタン

チャプター番号やタイトル番号などの数値を入力します。

## 28.A-TIME ボタン

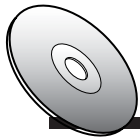
任意のタイトルやチャプターへジャンプします。また、ディスク再生中に押すと、ディスク情報を表示します。

## 29.ズームボタン

映像を拡大・縮小します。ボタンを押すたび、倍率を次のように変更できます。

2倍→3倍→4倍→1/2倍→1/3倍→1/4倍  
→通常表示→2倍→…

カーソルボタンでズームする位置を調整します。



# 接続のしかた

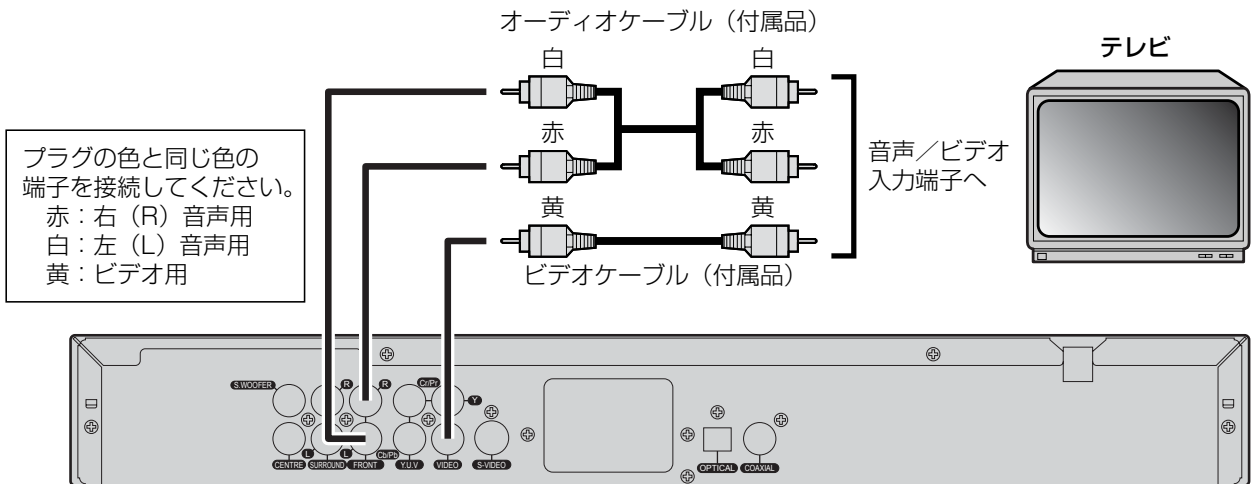
## テレビに接続する

### ■接続する前に

- ・接続するときは、本機とテレビの電源を切り、電源プラグを抜いておいてください。
- ・接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。

### コンポジットビデオ入力端子があるテレビとの接続

付属のオーディオケーブルとビデオケーブルを使って接続してください。  
 音声接続は本機のフロント出力端子とテレビの音声入力端子を接続します。  
 映像接続は本機のコンポジットビデオ出力端子とテレビのビデオ入力端子を接続します。



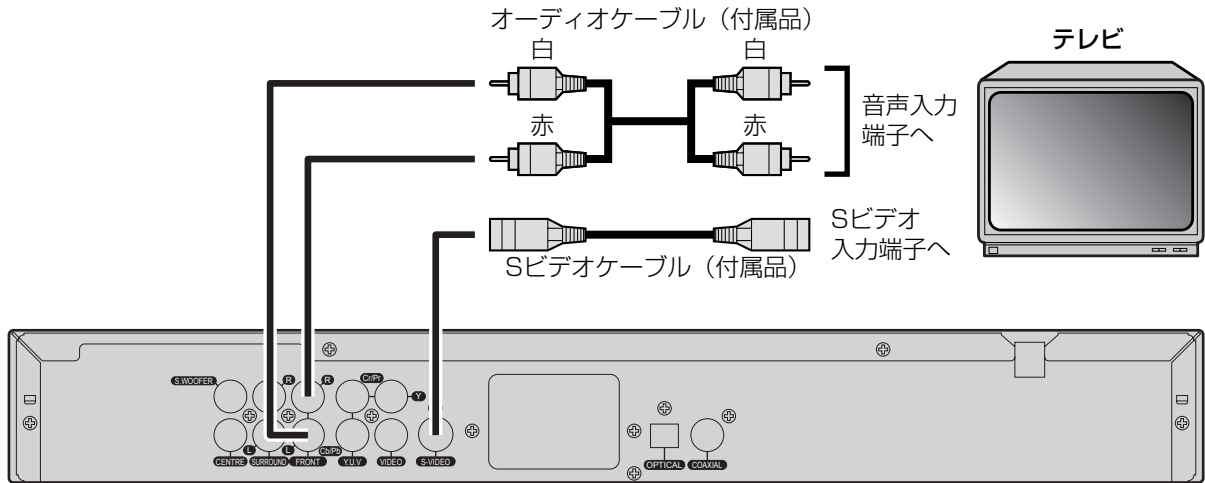
- ・この接続を行なったときは、オーディオ設定の「スピーカー設定」で、「ダウンミックス」を「ステレオ」に設定してください。(59 ページ)
- ・ワイドテレビ (16 : 9 画面) を接続した場合は、一般設定の「TV 表示」を「ワイド」に設定してください。(57 ページ)

### ⚠️ ご注意 ⚠️

- ・本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキやビデオ内蔵テレビを間にはさんでテレビに接続すると、コピープロテクション (著作権保護信号) のはたらきにより正常な画像にならない場合があります。

Sビデオ入力端子があるテレビとの接続

テレビにSビデオ入力端子があるときは、付属のSビデオケーブルを使って接続してください。コンポジットビデオ接続よりも鮮明な映像をお楽しみいただけます。



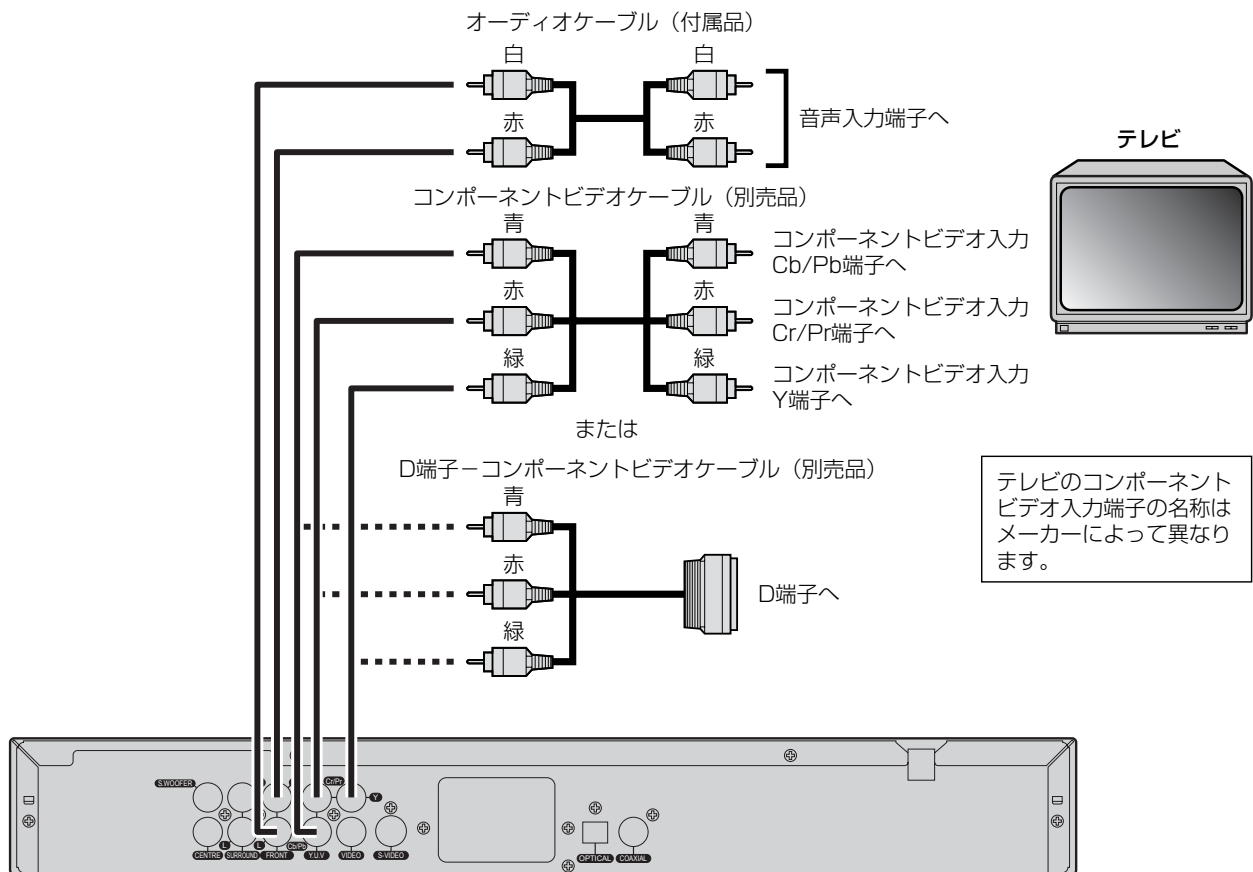
・この接続を行なったときは、オーディオ設定の「スピーカー設定」で、「ダウンミックス」を「ステレオ」に設定してください。(59ページ)

# 接続のしかた

## コンポーネントビデオ入力端子があるテレビとの接続

テレビにコンポーネントビデオ入力端子またはD端子があるときは、別売のコンポーネントビデオケーブルを使ってコンポーネントビデオ接続することにより、Sビデオ接続よりさらに鮮明な映像をお楽しみいただけます。また、プログレッシブ対応のテレビを接続することにより、プログレッシブスキャンされた映像をお楽しみいただけます。

テレビに接続する



- ・この接続を行なったときは、オーディオ設定の「スピーカー設定」で、「ダウンミックス」を「ステレオ」に設定してください。(59 ページ)
- ・プログレッシブ対応テレビを接続したときは、ビデオ設定の「TV モード」を「P-スキャン」に設定してください。(67 ページ)

### ⚠️ ご注意 ⚠️

- ・プログレッシブ対応テレビによっては、本機のプログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪影響をおよぼす可能性があります。このような問題が起きた場合は、ビデオ設定の「TV モード」を「インタレース」に設定してください。(67 ページ)

## AVアンプに接続する

本機をAVアンプに接続することにより、より高品質な音声をお楽しみいただけます。

ドルビーデジタルサラウンド音声やDTSサラウンド音声を再生するときは、それぞれに対応したAVアンプと接続する必要があります。

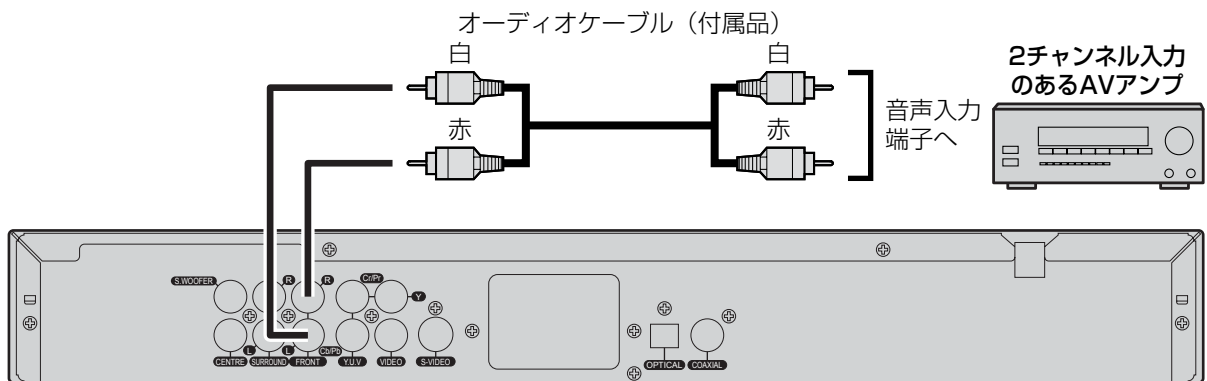
### ■接続する前に

- ・接続するときは、すべての機器の電源を切り、電源プラグを抜いておいてください。
- ・接続するAVアンプの取扱説明書もよくお読みください。

### デジタル端子のないAVアンプとの接続（アナログ接続）

#### ■2チャンネル音声入力端子のあるAVアンプとの接続

付属のオーディオケーブルを使って、本機のフロント出力端子とAVアンプの2チャンネル音声入力端子を接続します。

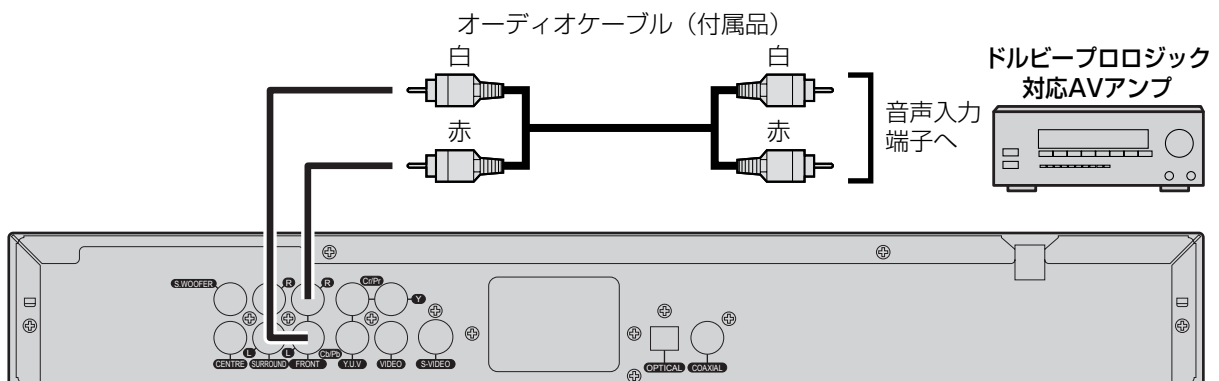


- ・この接続を行なったときは、オーディオ設定の「スピーカー設定」で、「ダウンミックス」を「ステレオ」に設定してください。（59ページ）

#### ■ドルビープロロジック対応AVアンプとの接続

ドルビーデジタル音声を再生するとき、アナログ2チャンネルに信号を変換して出力できます。

付属のオーディオケーブルを使って、本機のフロント出力端子とAVアンプの2チャンネル音声入力端子を接続します。

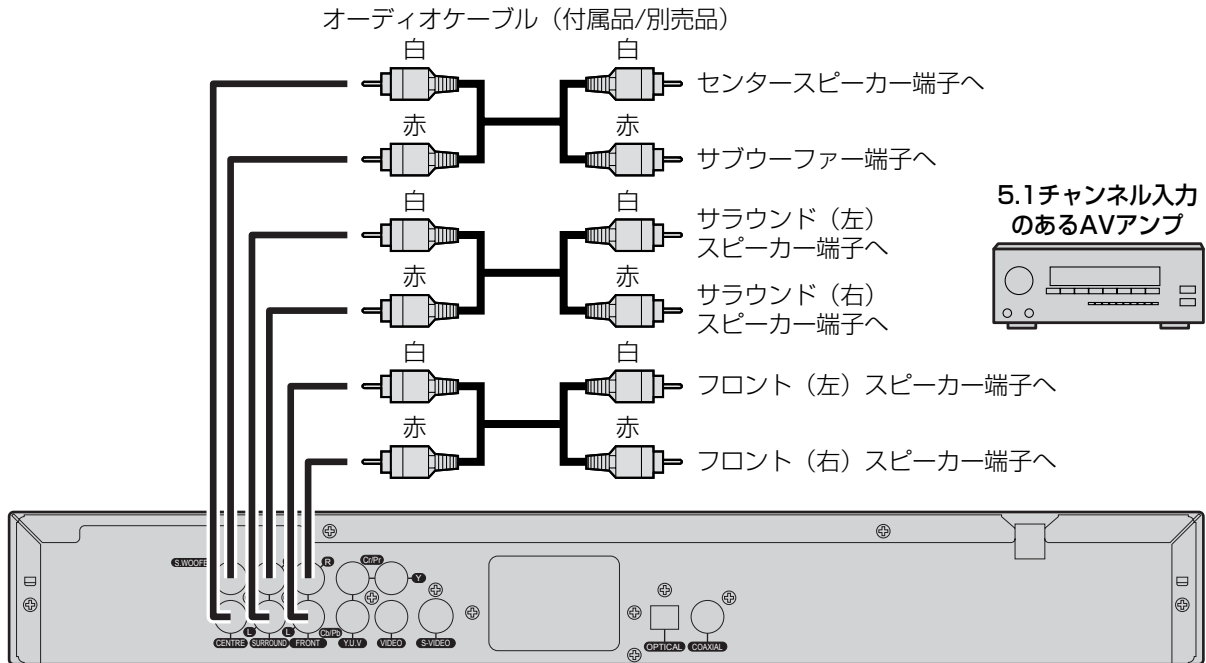


- ・この接続を行なったときは、オーディオ設定の「スピーカー設定」で、「ダウンミックス」を「LT/RT」に設定してください。（59ページ）

# 接続のしかた

## ■ 5.1 チャンネル音声入力端子のある AV アンプとの接続

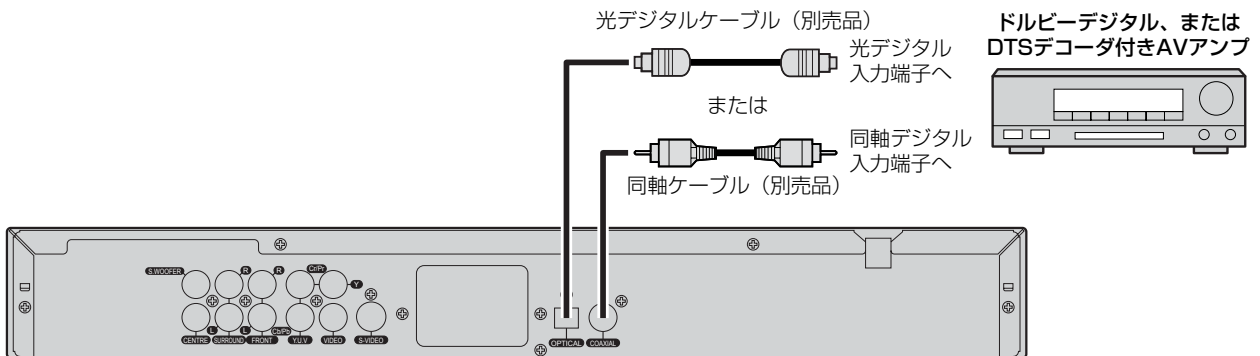
付属および別売のオーディオケーブルを使って本機のフロント出力、センター出力、サラウンド出力、サブウーファー出力端子と AV アンプの 5.1 チャンネル音声入力端子をそれぞれ接続します。



・この接続を行なったときは、オーディオ設定の「スピーカー設定」で、「ダウンミックス」を「オフ」に設定してください。(59 ページ)

## デジタル端子のある AV アンプとの接続 (デジタル接続)

別売の光デジタルケーブルを使って、本機の光デジタル出力端子と AV アンプの光デジタル入力端子を接続します。または別売の同軸ケーブルを使って、本機と同軸デジタル出力端子と AV アンプと同軸デジタル入力端子を接続します。

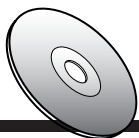


・この接続を行なったときは、オーディオ設定の「SPDIF 設定」で、「SPDIF 出力」を「SPDIF/RAW」に設定してください。(61 ページ)

### ⚠️ ご注意 ⚠️

- ・光デジタルケーブルのプラグ形状には、光角型プラグと光ミニプラグがあります。お買い求めになるときは、接続する AV アンプの端子形状をご確認ください。本機の光デジタル出力端子は光角型です。
- ・光デジタル出力端子には保護用キャップが取り付けられています。接続のときはこのキャップを取り外してください。端子を使用しないときはキャップを必ず取り付けおいてください。





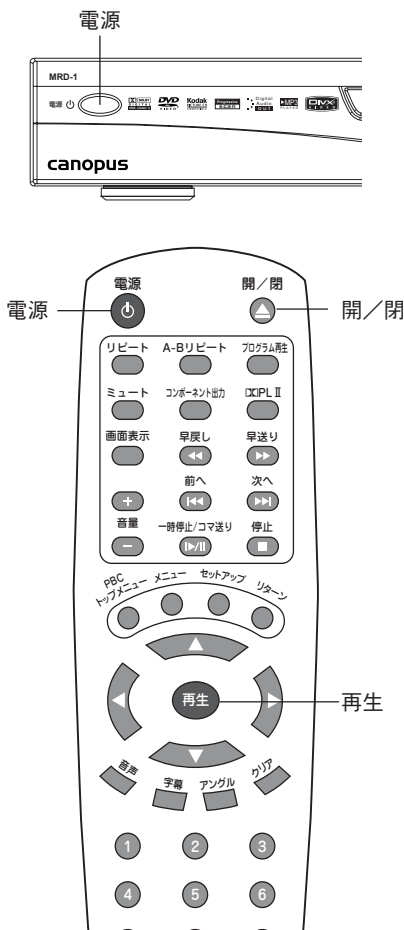
# DVD/CDの再生

## DVD/CDを再生する

DVD CD VCD SVCD

### ■準備

- ・テレビやアンプ、スピーカーなど、本機に接続している機器の電源を入れます。
- ・本機に接続されている機器の音量が、適切であることを確認します。



### 1 本体の電源ボタンをカチッというまで押す

本機の電源が入ります。

- 本体の主電源が入っている（スタンバイランプが点灯している）場合は、リモコンの電源ボタンを押します。

### 2 開/閉ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。

- 本体の取り出しボタンを押しても、ディスクトレイが開きます。

### 3 ディスクをディスクトレイに置く

ディスクのラベル（印刷）面を上にして置きます。ディスクがディスクトレイのくぼみに正しくセットされていることを確認します。

### 4 再生ボタンを押す

ディスクトレイが閉まります。


表示部に「LOAd」が表示され、しばらくすると自動的に再生が始まります。

- 本体の取り出しボタン、またはリモコンの開/閉ボタンを押しても、ディスクの再生が始まります。

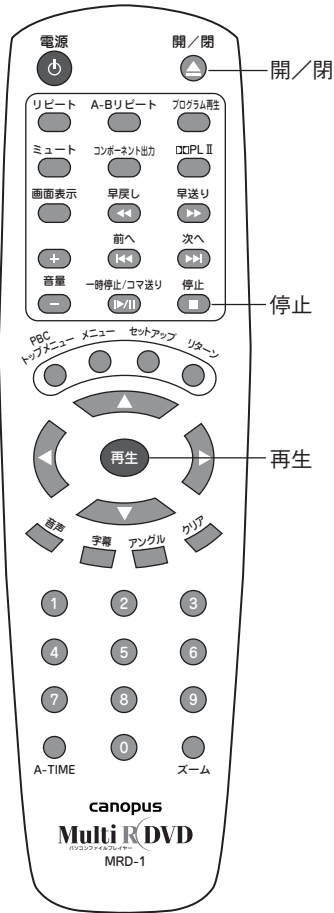
### ！ご注意！

- ・再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つける原因となります。
- ・ディスクトレイの開閉中は、トレイに触れないでください。故障の原因となります。

### MEMO

- ・操作中にテレビ画面の左上に「禁止」アイコン  が表示されることがあります。これは、表示している画面やディスクに対して禁止されている操作が行なわれたことを示します。
- ・MP3やDivXなどが記録されているCD、またはKodak Picture CDなどの再生は、「MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生」（38ページ）、または「JPEG ファイル/Kodak Picture CDの再生」（47ページ）をご覧ください。
- ・再生するDVDやビデオCDによっては、最初にメニューが表示されたり、任意の場所から再生する場合があります。メニューが表示された場合は、「DVDのメニューから再生する」（24ページ）、または「ビデオCDのメニューから再生する」（25ページ）をご覧ください。

# DVD/CDの再生



## 再生を停止する

### 1 停止ボタンを押す

ディスクの再生が止まります。

- 本機の停止ボタンを押しても、停止します。
- 停止した位置から再生するには、もう一度再生ボタンを押します。
- 最初から再生する場合は、一度ディスクトレイを開閉するが、もう一度停止ボタンを押します。

## ディスクを取り出す

### 1 開/閉ボタンを押す

ディスクトレイが開きます。

- 本機の取り出しボタンを押しても、ディスクトレイが開きます。

## スクリーンセーバーから復帰する

停止状態が3分以上続いたときは、画像焼き付き防止のためスクリーンセーバーが自動的にはたらきます。

### 1 いずれかのボタンを押す

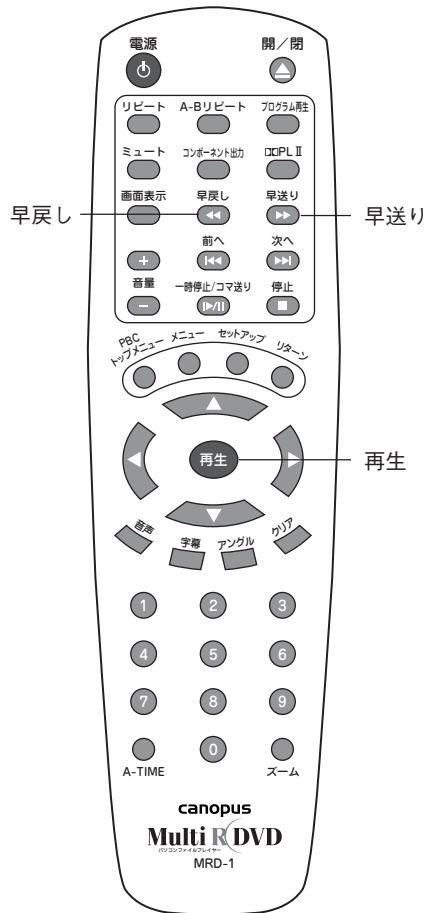
スクリーンセーバーが解除され、通常の画面に戻ります。

### MEMO

- ・一度ディスクトレイからディスクを取り出したり本機の電源をオフすると、停止した位置は記憶されません。次回再生時に停止した位置から再生する場合は、ラストメモリ機能をオンにした後、ディスクを取り出してください。ラストメモリ機能については、「一般設定をする」の「ラストメモリ」(58ページ)をご覧ください。
- ・スクリーンセーバー機能のオン/オフについては、「一般設定をする」の「スクリーンセーバー」(58ページ)をご覧ください。
- ・停止状態やスクリーンセーバー表示状態が一定時間続くと、本機の電源が自動的にオフします。(オートパワーオフ機能)

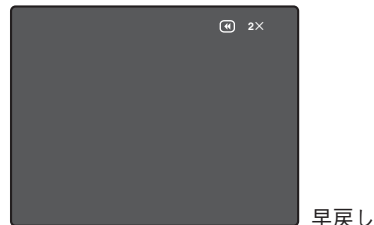
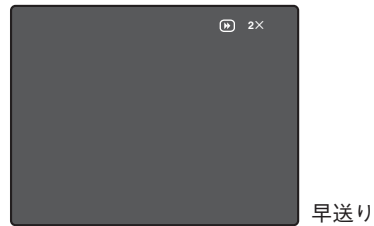
早送り / 早戻しする

DVD CD VCD SVCD



1 再生中に早送り、または早戻しボタンを押す

2倍速の早送り（早戻し）になります。



- ボタンを押すたびに、再生速度が次のように変わります。  
2×→4×→8×→16×→32×→通常の再生→2×→...
- 通常の再生に戻るには、再生ボタンを押します。

早送り / 早戻しする

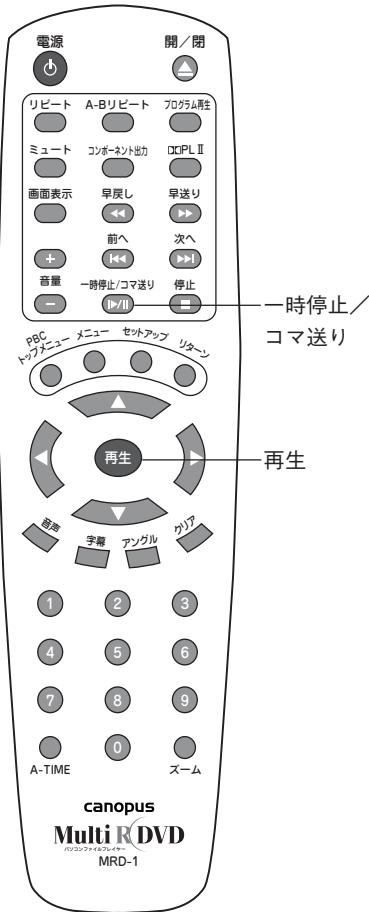
MEMO

- ・早送り・早戻し中は、音声は再生されません。
- ・再生速度によっては、字幕が表示されません。

# DVD/CDの再生

## 一時停止（コマ送り再生）する

DVD CD VCD SVCD



### 1 再生中に一時停止/コマ送りボタンを押す

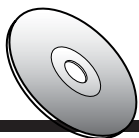
再生中の映像や音楽が、一時停止します。

- 映像をコマ送り再生するには、一時停止中に一時停止/コマ送りボタンを押します。ボタンを押すたびに1コマずつ進みます。
- 通常の再生に戻るには、再生ボタンを押します。
- 音楽CDの場合は、一時停止中にもう一度一時停止/コマ送りボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

一時停止（コマ送り再生）する

### MEMO

・一時停止・コマ送り再生中は、音声が再生されません。



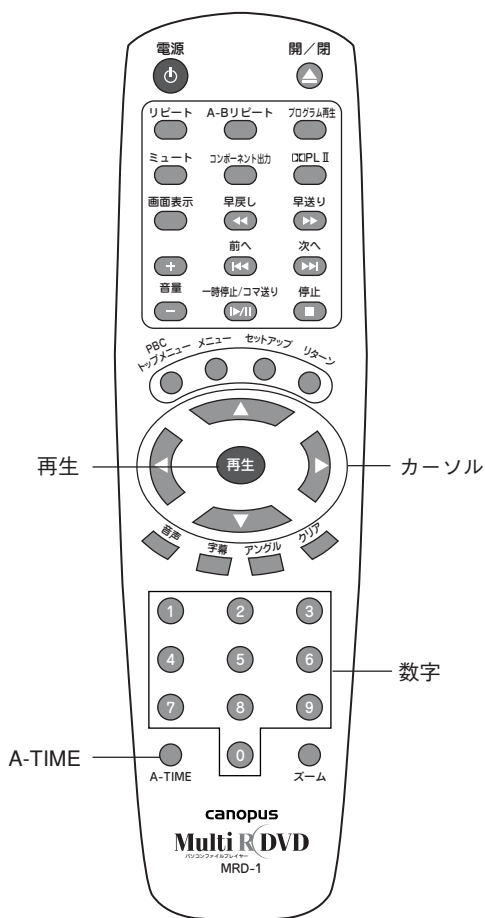
# ディスク情報を確認する

## 情報を確認・変更する

DVD VCD SVCD

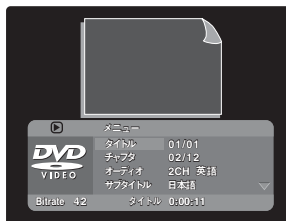
DVDは、ディスクによって再生できる字幕・音声言語や音声形式などが異なります。再生するディスクに記録されているそれらの情報は、次の方法で確認できます。また、再生設定の変更やチャプターやタイトルによるダイレクト再生（サーチ）も、ディスク情報画面から行なうことができます。

### 再生設定を変更する



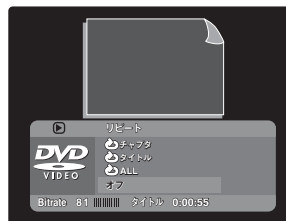
#### 1 再生中に A-TIME ボタンを押す

ディスク情報画面が表示されます。表示されている内容は、現在選択されている再生設定です。



#### 2 カーソルボタン(▲/▼)で項目を選び、再生ボタンを押す

選択肢が表示されます。(例：リPEATを選択した場合)



- 数字を入力する項目の場合は、画面の文字が黄色く変化し入力モードになります。数字ボタンで数字を入力してください。
- 一桁の数字を入力する場合は、最初に「0」を入力します。
- 変更できない項目は、選択肢が表示されません。

#### 3 カーソルボタン(▲/▼)でご希望の設定を選び、再生ボタンを押す

設定が変更されます。

- 通常の再生に戻るには、もう一度A-TIMEボタンを押します。

### MEMO

- ・設定を変更した時点で、変更内容が反映されます。
- ・本機のPBC機能がオンになっていると、ビデオCDのリPEAT範囲が設定できません。PBC機能をオフにするには、PBC/トップメニューボタンを押します。

情報を確認・変更する

# ディスク情報を確認する

## 時間の表示方法を変更する

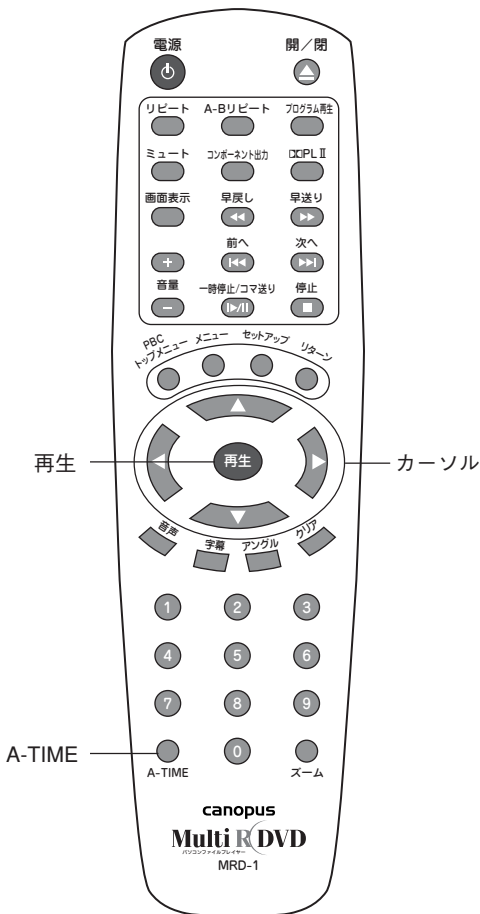
画面表示ボタンを押すと表示される時間表示を、次のように変更できます。

< DVD の場合 >

- ・タイトル : タイトルの経過時間を表示します。
- ・タイトル残り : タイトルの残り時間を表示します。
- ・チャプタ : チャプターの経過時間を表示します。
- ・チャプタ残り : チャプターの残り時間を表示します。

< ビデオ CD の場合 >

- ・トータル時間 : ディスク全体の経過時間を表示します。
- ・トータル残り : ディスク全体の残り時間を表示します。
- ・シングル時間 : トラックの経過時間を表示します。
- ・シングル残り : トラックの残り時間を表示します。



### 1 再生中に A-TIME ボタンを押す

ディスク情報画面が表示されます。  
表示されている内容は、現在選択されている設定です。



### 2 カーソルボタン (▲/▼) で「時間表示」を選び、再生ボタンを押す

時間表示方法の選択肢が表示されます。



### 3 カーソルボタン (▲/▼) でご希望の表示方法を選び、再生ボタンを押す

時間表示方法が変更されます。

- 通常の再生に戻るには、もう一度A-TIMEボタンを押します。

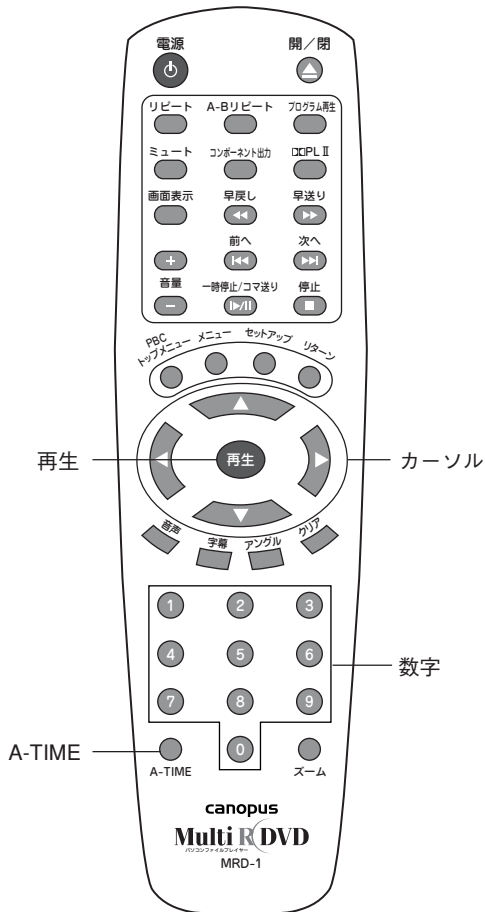
#### MEMO

・設定を変更した時点で、時間表示方法の変更が反映されます。

## 番号を入力して再生する

DVD VCD SVCD

トラックやチャプター、タイトル番号などを入力して、その位置から再生を始められます（サーチ）。ここでは、チャプター番号を入力して再生する方法を例として説明します。



### 1 再生中に A-TIME ボタンを押す

ディスク情報画面が表示されます。

表示されている内容は、現在選択されている設定です。



### 2 カーソルボタン (▲/▼) で「チャプタ」を選び、再生ボタンを押す

画面の文字が黄色く変化し入力モードになります。



- 「タイトル」や「トラック」を選び、それぞれの番号を入力することもできます。

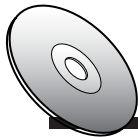
### 3 数字ボタンでチャプター番号を入力する

プレビュー画面に、入力した位置からの映像を表示します。

- 一桁の数字を入力する場合は、最初に「0」を入力します。
- 通常の再生に戻るには、もう一度 A-TIME ボタンを押します。

#### MEMO

- ・チャプター（またはタイトルやトラック）番号を入力した時点で、再生が始まります。
- ・「タイトル時間」や「チャプタ時間」は、それぞれのトータル時間を表示しています。その範囲内の時間を入力すると、その位置から再生することもできます。



# DVD/CDのいろいろな再生

## DVDのメニューから再生する

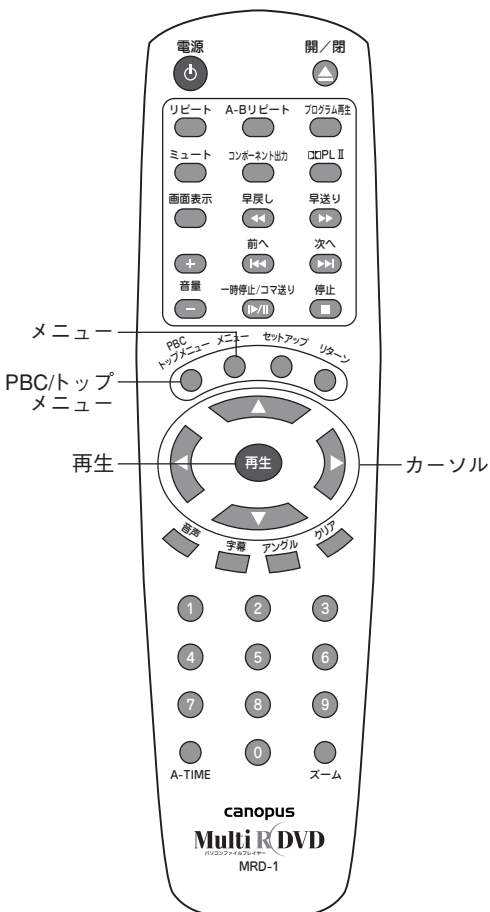
DVD

再生するDVDによって、複数の映像や曲などを選択できるトップ（タイトル）メニューや字幕・音声言語などを設定するルートメニューを表示できる場合があります。

ディスクに記録されているメニューや内容はディスクごとに異なりますが、ここでは一般的な再生方法を説明します。

(例)

- メニュー
- ・本編スタート
- ・字幕
- ・音声
- ・チャプター
- ・メイキング映像
- ・CMスポット



### 1 メニューボタンを押す

ルートメニューが表示されます。

- トップ（タイトル）メニューを表示するには、PBC/トップメニューボタンを押します。

### 2 カーソルボタン（▲/▼/◀/▶）で希望する項目やタイトルを選ぶ

- 数字ボタンで入力するDVDもあります。

### 3 再生ボタンを押す

指定した項目やタイトルから再生が始まります。

#### MEMO

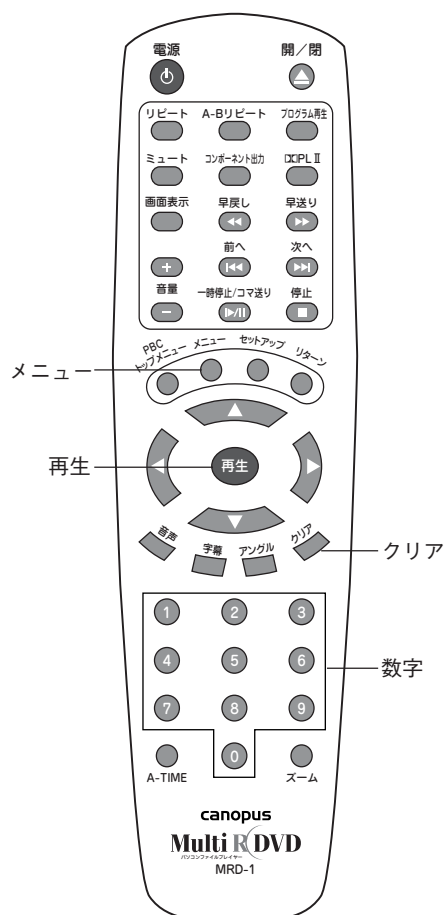
- ・操作方法の詳細については、ディスクに付属の説明書をご覧ください。
- ・各メニューは、ディスクにメニューが記録されている場合のみ表示されます。ディスクにメニューが記録されていない場合は、「禁止」アイコンが表示されます。



## ビデオ CD のメニューから再生する

VCD

PBC 機能付きビデオ CD は、希望するトラックから再生できます。



## 1 メニューボタンを押す

ビデオ CD の PBC メニューが表示されます。

## 2 数字ボタンでトラック番号を入力する

選んだトラックから再生が始まります。

- 一桁の数字を入力する場合は、最初に「0」を入力します。
- 入力した数字を修正するには、クリアボタンを押したあと再入力します。

## MEMO

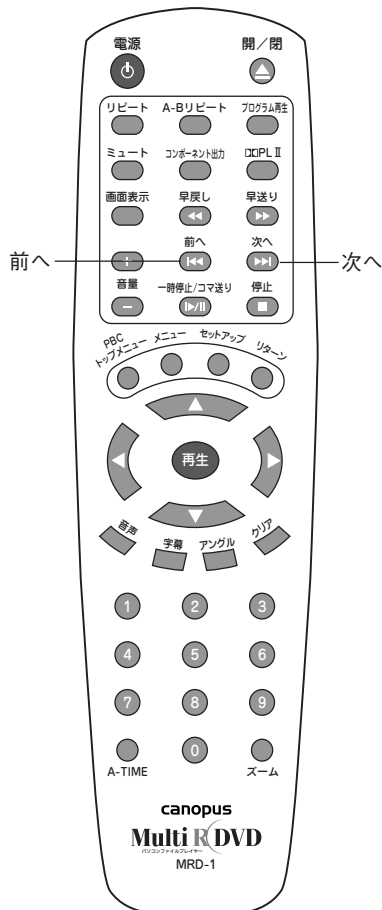
- ・操作方法の詳細については、ディスクに付属の説明書をご覧ください。
- ・本機の PBC 機能がオフになっていると、ビデオ CD の PBC メニューは表示されません。PBC 機能をオンにするには、PBC/ トップメニューボタンを押します。

## DVD/CDのいろいろな再生

### 場面・曲を飛び越し再生する

DVD CD VCD SVCD

現在再生中のチャプター（トラック）を飛ばして、前や後ろのチャプター（トラック）を再生できます。



#### 1 再生中に前へボタン（または次へボタン）を押す

一つ前のチャプターやトラックが再生されます。  
次へボタンを押すと、次のチャプターやトラックが再生されます。

- 前へボタンを押すたびに、チャプター番号やトラック番号が繰り下がります。
- 次へボタンを押すたびに、チャプター番号やトラック番号が繰り上がります。

場面・曲を飛び越し再生する

#### MEMO

・再生するディスクによっては、タイトルをまたいで飛び越し再生できない場合があります。

## 場面・曲を繰り返し再生する

DVD CD VCD SVCD

同じチャプターやトラック、ディスクなどを繰り返し再生できます（リピート再生）。



### 1 再生中にリピートボタンを押す

画面左上に、リピートする範囲が表示されます。また本体表示部のリピート表示が点灯します。



### 2 リピートボタンを押し、リピートする範囲を選ぶ

- ボタンを押すたびに、リピートする範囲が次のように切り替わります。  
DVD：チャプター→タイトル→ディスク（ALL）→オフ→チャプター→…  
CD：トラック→ディスク（ALL）→オフ→トラック→…
- 通常の再生に戻るには、リピート表示が消える（オフになる）まで数回リピートボタンを押します。

場面・曲を繰り返し再生する

### MEMO

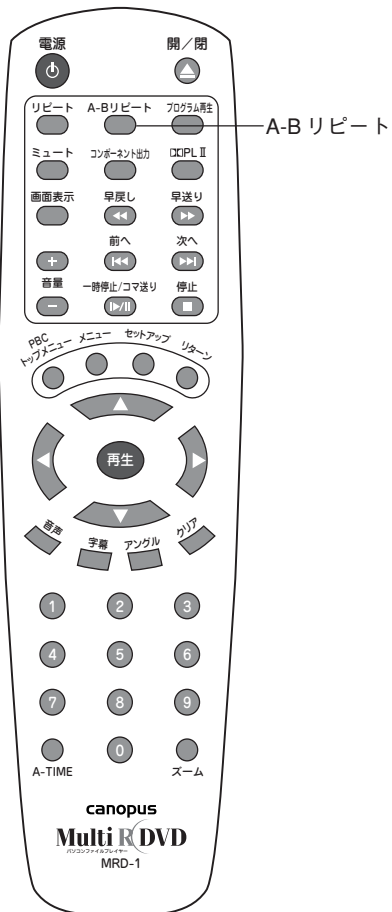
- ・リピート再生するときは、本機のPBC機能をオフにしておいてください。PBC機能をオフにするには、PBC/トップメニューボタンを押します。
- ・プログラム再生中にリピートする範囲を「ALL」に設定すると、プログラムを繰り返し再生します。

# DVD/CDのいろいろな再生

## お好みの2点間を繰り返し再生する

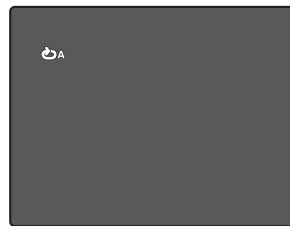
DVD CD VCD SVCD

開始点 (A) と終了点 (B) を指定し、その範囲を繰り返し再生できます (A-B リpeat再生)。お好みの場面に A-B 点を設定すると、その場面を何回も繰り返して視聴することができます。



### 1 再生中に開始位置でA-Bリpeatボタンを押す

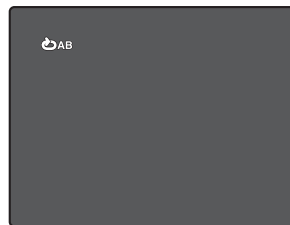
開始点が設定され、画面左上にAマークが表示されます。



### 2 終了位置でA-Bリpeatボタンを押す

終了点が設定され、画面左上のAマークがABマークに変わります。

ABマークが表示されている間は、A-B間を繰り返し再生します。



- 通常の再生に戻るには、A-Bリpeatボタンを押します。画面左上のマークが消え、通常の再生に戻ります。

### MEMO

- ・A-B点は同じタイトル(トラック)内にも設定できます。
- ・DVDの場面によっては、A-B間のリpeat再生ができない場合があります。

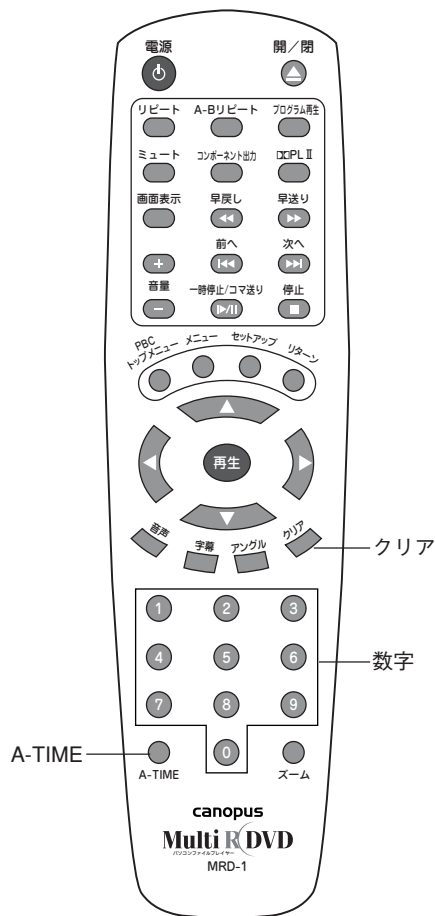
## お好みの位置から再生する

DVD CD VCD SVCD

希望するチャプターやトラックを、直接指定して再生できます（サーチ）。  
指定できる番号などはディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作を例に説明します。

### ■準備

再生中に停止ボタンを1回押し、映像を停止させます。



## DVD を再生する

### 1 停止中に A-TIME ボタンを押す

入力画面が表示されます。



ボタンを押すたびに、入力画面が次のように切り替わります。

タイトル 00/00 チャプタ 00/00  
(タイトル番号・チャプター番号入力)

↓  
タイトル 00/00 時間 0:00:00  
(タイトル番号・タイトル時間入力)

↓  
チャプタ 00/00 時間 0:00:00  
(チャプター番号・チャプター時間入力)

### 2 数字ボタンで時間や番号を入力する

入力した位置からの再生が始まります。

- 時間入力は、それぞれ「時間：分：秒」を入力します。
- 一桁の数字を入力する場合は、最初に「0」を入力します。
- 入力した数字を修正するには、クリアボタンを押したあと再入力します。

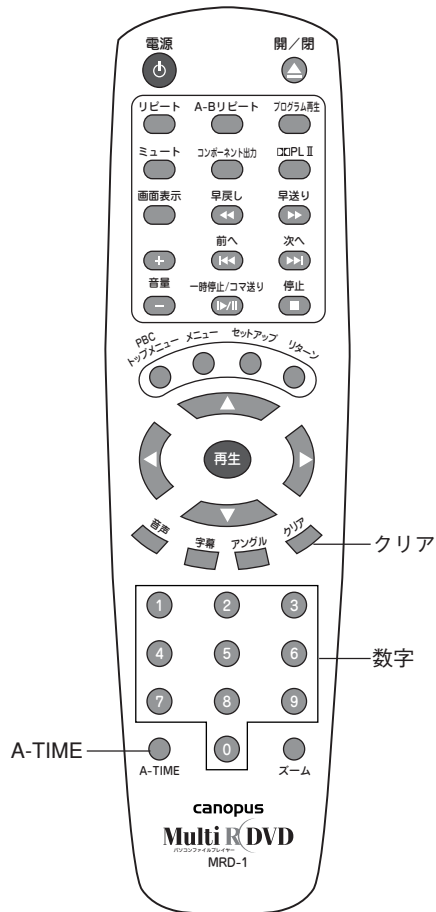
### MEMO

- ・タイトルやチャプターに対応した番号情報がディスクに記録されていない場合は、サーチできません。
- ・時間入力は、選択したタイトルやチャプターの範囲内で指定してください。

お好みの位置から再生する

# DVD/CD のいろいろな再生

## 音楽 CD やビデオ CD を再生する



### 1 停止中に A-TIME ボタンを押す

入力画面が表示されます。

ボタンを押すたびに、入力画面が次のように切り替わります。

ディスク GO TO : 00 : 00 (ディスク時間入力)

↓

トラック GO TO : 00 : 00 (トラック時間入力)

↓

トラックを選択 : 00 / 00 (トラック番号入力)

●音楽 CD の場合は、再生中でも A-TIME ボタンを押して入力画面を切り替えることができます。

### 2 数字ボタンで数字を入力する

入力した位置からの映像 (音楽) が始まります。

- 時間入力は、それぞれ「分：秒」を入力します。
- 一桁の数字を入力する場合は、最初に「0」を入力します。
- 入力した数字を修正するには、クリアボタンを押したあと再入力します。

好みの位置から再生する

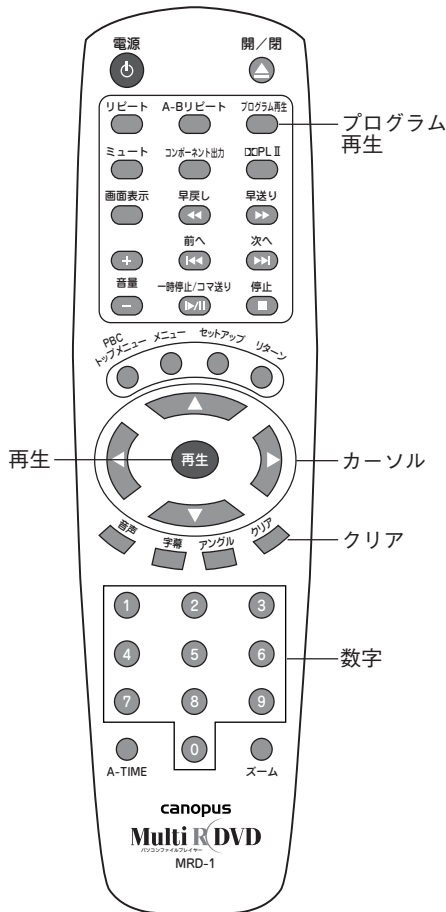
### MEMO

- ・トラックに対応した番号情報がディスクに記録されていない場合は、サーチできません。
- ・時間入力は、選択したディスクやトラックの範囲内で指定してください。

## お好みの順序で再生する

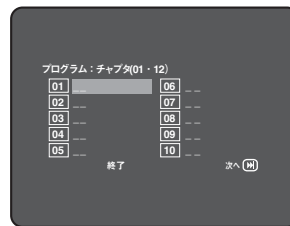
DVD CD VCD SVCD

同じディスク内に収録されている音楽や映像を、お好みの順序で再生することができます（プログラム再生）。最大20トラック（チャプター）までプログラムに登録できます。



### 1 再生中にプログラム再生ボタンを押す

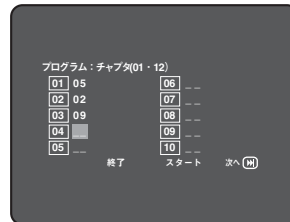
プログラム画面が表示されます。



### 2 数字ボタンでチャプター（またはトラック）番号を入力する

入力した番号が表示され、カーソルが下段に移動します。

必要に応じて、引き続き番号を入力します。



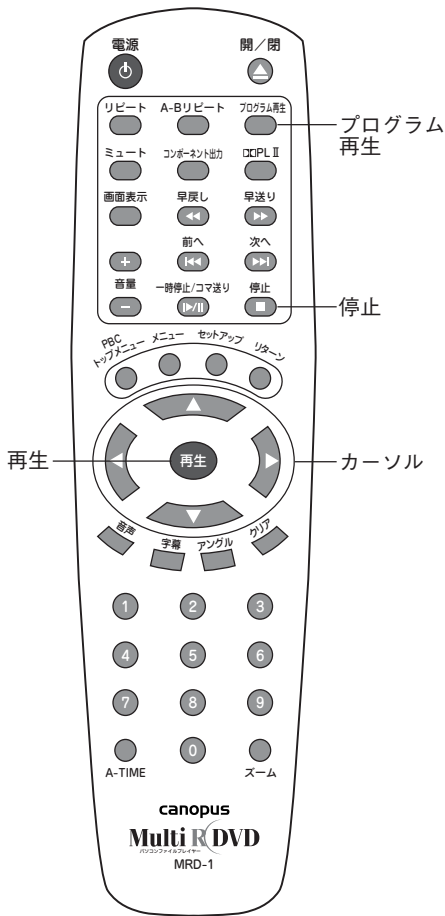
- 入力した番号を修正するには、クリアボタンを押したあと、再入力します。
- ディスクによっては、タイトル番号とチャプター番号を入力します。

### 3 カーソルボタン (▲/▼/◀/▶) で「スタート」まで移動し、再生ボタンを押す

プログラムの順番で再生が始まります。

お好みの順序で再生する

# DVD/CD のいろいろな再生



お好みの順序で再生する

## 再生を停止する

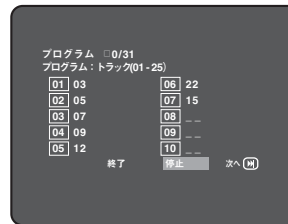
### 1 停止ボタンを押す

- 停止ボタンを押したあと再生ボタンを押すと、プログラム再生を終了し、停止した位置から通常の再生を行いません。
- 最初から再生するには、2回停止ボタンを押したあと、再生ボタンを押します。

## プログラムを確認する

### 1 プログラム再生中にプログラム再生ボタンを押す

プログラム画面が表示されます。

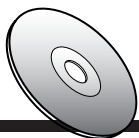


- プログラム再生に戻るには、カーソルボタン (▲/▼/◀/▶) で「終了」を選び、再生ボタンを押します。
- 「停止」を選ぶとプログラム再生を停止します。

## MEMO

- ・登録したプログラムは、停止ボタンを押す、またはディスクを取り出した時点で消去されます。
- ・プログラム再生中にリピートボタンを押し、リピート範囲を「ALL」に設定すると、繰り返しプログラム再生を行いません。
- ・一度プログラム再生を開始すると、プログラムの内容は修正できません。内容を変更する場合は、停止ボタンを押したあともう一度プログラムを作成してください。



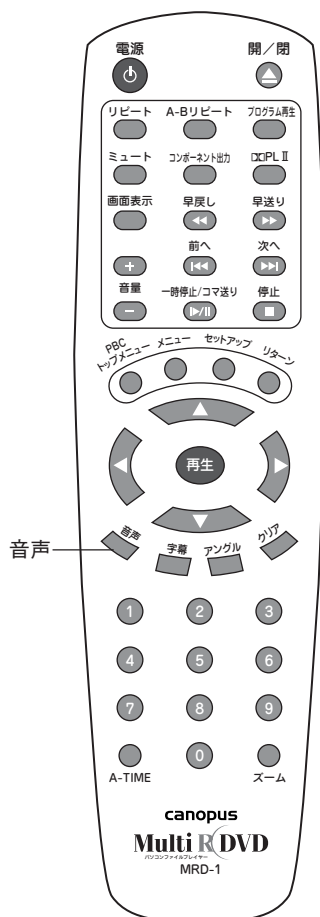


# DVD/CDをもっと楽しむ

## 音声を切り替える

DVD CD VCD SVCD

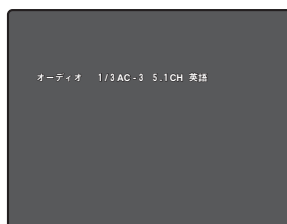
複数の言語で音声収録されているDVDでは、再生する音声言語を切り替えられます。  
音楽CD、ビデオCD、スーパービデオCDでは、音声出力を切り替えられます。



### 1 再生中に音声ボタンを押す

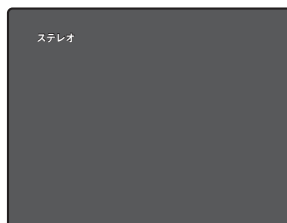
現在設定されている音声が画面に表示されます。

#### ●DVDの場合



ボタンを押すたびに音声言語が切り替わります。

#### ●CD/ビデオCD/スーパービデオCDの場合



ボタンを押すたびに音声出力モードが切り替わります。  
切り替えできる音声出力モードは次の通りです。

- ステレオ : 音声をステレオで出力します。
- MONO左 : 左チャンネルの音声を左右のチャンネルよりモノラルで出力します。
- MONO右 : 右チャンネルの音声を左右のチャンネルよりモノラルで出力します。
- ミックス : 左右のチャンネルの音声をミックスしてモノラルで出力します。

音声を切り替える

### MEMO

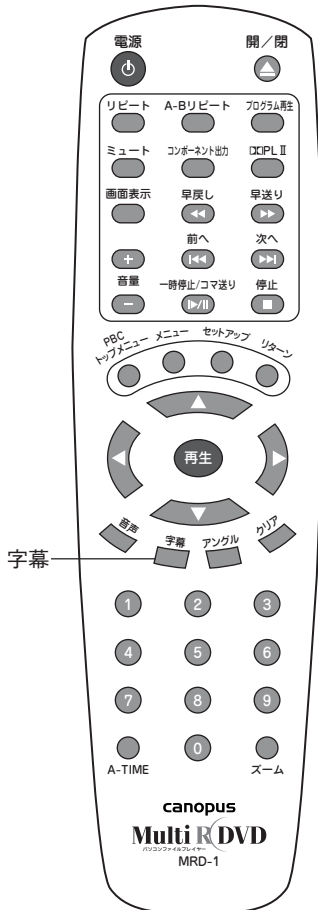
- 電源を入れたときやディスクを交換したときは、機能設定で設定されている音声言語になります。
- ディスクによっては、再生中に音声ボタンを押しても音声言語を切り替えることができないことがあります。このような場合は、メニューボタンを押し、ディスクのメニュー画面で切り替えてください。
- ボタンを数回押してもお好みの音声言語が表示されないときは、その音声言語が収録されていません。
- 画面表示はボタンを押してから約3秒後に消えます。

# DVD/CD をもっと楽しむ

## 字幕を切り替える

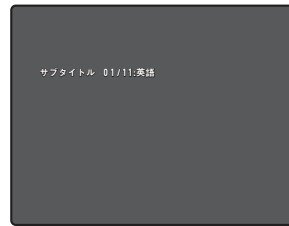
DVD

複数の言語で字幕が収録されている DVD では、表示する字幕言語を切り替えられます。



### 1 再生中に字幕ボタンを押す

現在設定されている字幕言語が画面に表示されます。



ボタンを押すたびに字幕言語が切り替わります。

### 字幕を消す

### 1 字幕ボタンを何度か押し、「サブタイトル オフ」に設定する

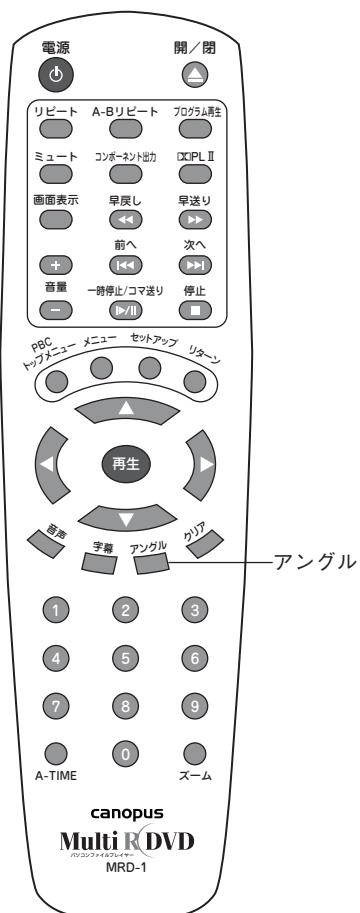
#### MEMO

- ・電源を入れたときやディスクを交換したときは、機能設定で設定されている字幕言語になります。
- ・ディスクによっては、再生中に字幕ボタンを押しても字幕言語を切り替えることができないことがあります。このような場合は、メニューボタンを押し、ディスクのメニュー画面で切り替えてください。
- ・ディスクによっては自動的に字幕が表示されるように設定されていることがあります。この場合は、「サブタイトル オフ」に設定しても字幕を消すことはできません。
- ・ボタンを数回押してもお好みの字幕言語が表示されないときは、その字幕言語が収録されていません。
- ・画面表示はボタンを押してから約3秒後に消えます。

## アングルを切り替える

DVD

複数のアングル（方向）を収録したDVDでは、再生中にアングルを切り替えられます。



### 1 再生中にアングルマークが表示されたらアングルボタンを押す

複数のアングルが収録されている場合には、ボタンを押すたびにアングルが切り替わります。

アングルを切り替える

#### MEMO

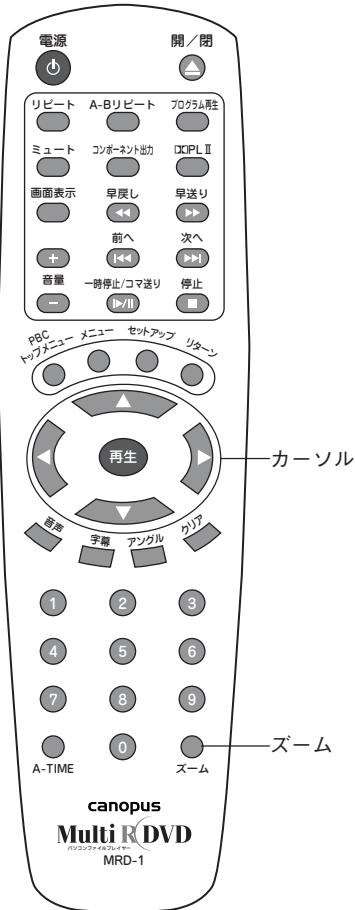
- ・画面にアングルマークが表示されているときのみアングルを切り替えることができます。
- ・一般設定で、「アングルマーク」の設定を「オフ」にしている場合は、アングルマークは画面に表示されません。（57 ページ）
- ・画面表示はボタンを押してから約3秒後に消えます。

# DVD/CDをもっと楽しむ

## ズーム再生する

DVD VCD SVCD

お好みの場面を拡大/縮小して再生できます。



### 1 再生中にズームボタンを押す

ズームガイドが表示され、画面中央の画像が拡大、または画面全体が縮小されます。



ボタンを押すたびに、倍率が次のように切り替わります。

2X → 3X → 4X → 1/2 → 1/3 → 1/4 → 通常の再生 → 2X → …

### 2 ズーム再生中にカーソルボタン(▲/▼/◀/▶)を押す

ズームする部分が移動します。

現在ズームされている箇所をズームガイドにより確認できます。

#### MEMO

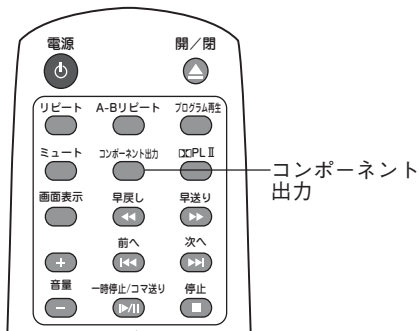
・ディスクによってはズーム再生できない場合があります。

## DVD/CD をもっと楽しむ

## 高画質で楽しむ (プログレッシブ再生)

DVD VCD SVCD

本機をプログレッシブ対応テレビのコンポーネントビデオ入力端子またはD端子と接続すると、高密度でちらつきの少ない高品質な映像を楽しめます。



## 1 再生中にコンポーネント出力ボタンを押す

ボタンを押すたびにプログレッシブ (P-スキャン) / インタレースが切り替わります。

- ビデオ設定の「TVモード」で設定することもできます。(67ページ)

## MEMO

## プログレッシブ再生とは？

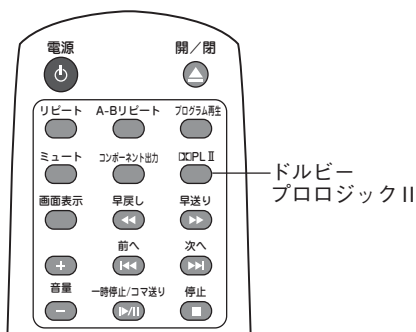
- ・従来方式のインタレーススキャンは、一画面の走査線を奇数段/偶数段に分け交互に表示するのに対し、プログレッシブスキャンは一画面の走査線を一度に表示します。このため、インタレーススキャン方式に比べちらつきの少ない滑らかな画像を得ることができます。

## Dolby Pro Logic IIでサラウンドを楽しむ

DVD CD VCD SVCD

Dolby Pro Logic IIを使うと、2チャンネルステレオで記録された音声をマルチチャンネルの臨場感あふれる立体音場で再生できます。

Dolby Pro Logic IIでサラウンドを楽しむには、5.1チャンネル音声入力端子付きのAVアンプまたはドルビーデジタル/DTSデコーダ付きAVアンプと複数のスピーカーが必要です。

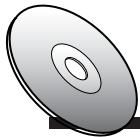


## 1 再生中にドルビープロロジックIIボタンを押す

ボタンを押すたびにDolby Pro Logic IIのオン/オフが切り替わります。

## MEMO

- ・Dolby Pro Logic IIには、音楽再生に適したミュージックモード、映画再生に適したシネマモードおよびDolby Pro Logicモード (フロント左右、センター、リアの4チャンネルに変換) があります。PRO LOGIC II Configページの「モード」で設定してください。(65ページ)
- ・モノラル音声はDolby Pro Logic IIで再生してもマルチチャンネルにはなりません。



# MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生

MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA 形式のファイルが収録されたディスクを再生できます。

## MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルについて

### ■ MPEG

デジタル動画や音声などの圧縮形式の一つです。圧縮方法によって MPEG-1、MPEG-2、MPEG-4 などの形式があります。ファイルには「.mpg」や「.mpeg」などの拡張子が付きます。本機は MPEG-1、MPEG-2 形式で圧縮されたファイルを再生することができます。

### ■ MP3

MPEG-1 で利用される音声圧縮形式の一つです。もとのデジタル音声データのファイル容量を約 1/10 にすることができます。ファイルには「.mp3」という拡張子が付きます。

### ■ DivX/XviD

MPEG 形式をベースとし、さらにファイルの容量を小さくし、かつ画像の劣化を少なくする圧縮形式です。ファイルには「.avi」という拡張子が付きます。

### ■ WMA

Microsoft 社が開発した音声圧縮形式です。MP3 形式よりも高い圧縮率で音声データを圧縮します。ファイルには「.wma」という拡張子が付きます。

## データディスクの作成について

### ■ フォルダ名 / ファイル名について

- ・フォルダ名およびファイル（トラック）名は、半角英字の A～Z、半角数字の 0～9、半角の \_（アンダースコア）を使って付けてください。それ以外の文字は文字化けを起こしたり、正しく表示されないことがあります。
- ・フォルダ名およびファイル名の 15 文字目以降は画面に表示されません。
- ・ファイル名には、必ず正しい拡張子（.mpg、.mp3 など）を付けてください。拡張子が正しくないと、再生可能なファイルとして認識されません。

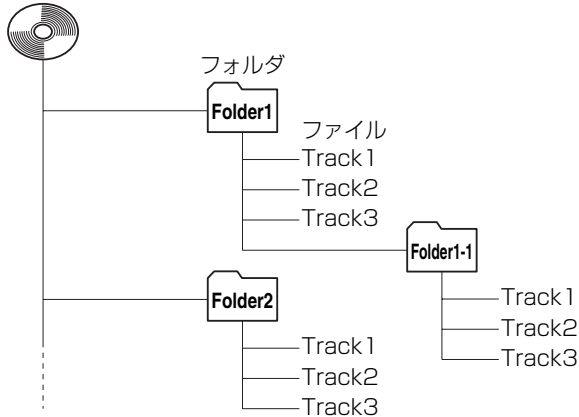
### ■ ディスクへの書き込みについて

- ・本機で再生できるファイル以外のファイルは書き込まないでください。
- ・マルチセッション（追記）記録された CD は再生できます。マルチボーダー記録された DVD は最初のボーダーのみ再生できます。
- ・最大 99 フォルダ、99 ファイルまで書き込みできます。
- ・ディスクの書き込み時の状況により、一部再生できない場合があります。
- ・本機で対応している圧縮形式で記録されたファイルであっても、バージョンや圧縮時の設定などにより正しく再生、操作できない場合があります。
- ・ファイルの解像度によっては、フル画面で表示されない場合があります。

# MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生

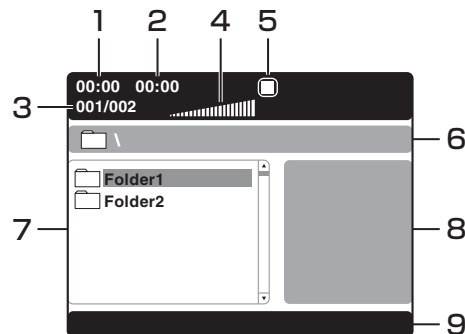
## ■ディスクの階層について

フォルダやファイルは、下図のような階層構造でディスクに収録されます。



## ファイルリスト画面について

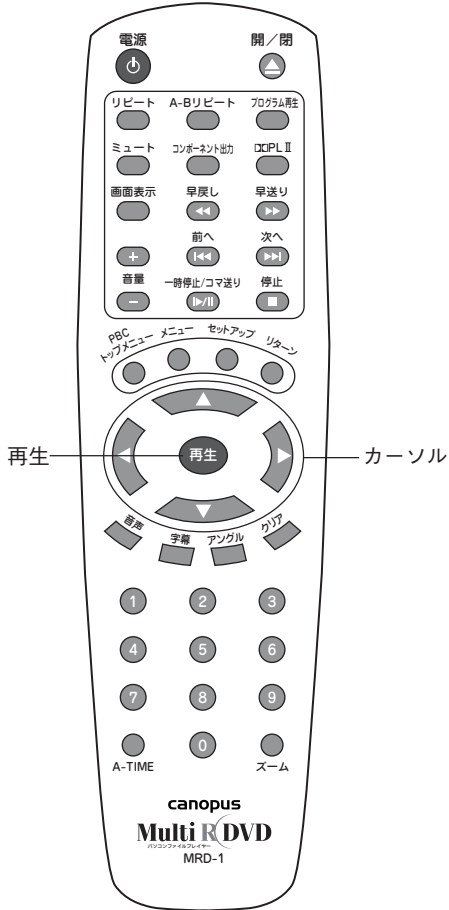
データファイルが収録されたディスクを挿入すると、以下のような画面が表示されます。これをファイルリスト画面と呼びます。



1. 再生中のファイルの経過時間を表示します。
2. 再生中のファイルの総時間を表示します。
3. 選んだフォルダまたはファイルの番号 / 総フォルダ数またはファイル数を表示します。
4. 再生音量を表示します。
5. 動作アイコン（再生、停止、早送り / 早戻し、一時停止）を表示します。
6. 現在開いているフォルダ名を表示します。
7. 現在開いているフォルダに収録されているフォルダまたはファイルの一覧が表示されます。選んだフォルダまたはファイルはオレンジ色のカーソルで示されます。
8. JPEG ファイルや Kodak Picture CD を再生する場合のプレビューを表示します。
9. ファイルの情報や選んだプレイモードなどの情報を表示します。

# MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生

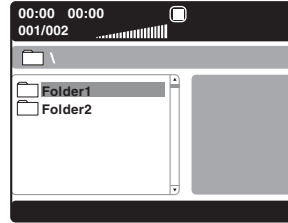
## ファイルを再生する



ファイルを再生する

### 1 データファイルが収録されたディスクを挿入する

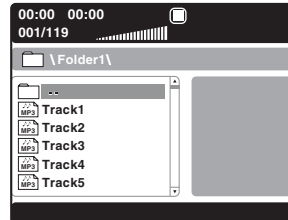
ファイルリスト画面が表示されます。






### 2 カーソルボタン (▲/▼) で再生したいファイルが収録されているフォルダを選び、再生ボタンを押す

選んだフォルダに収録されているファイルの一覧が表示されます。

(例：MP3 ファイルの場合)



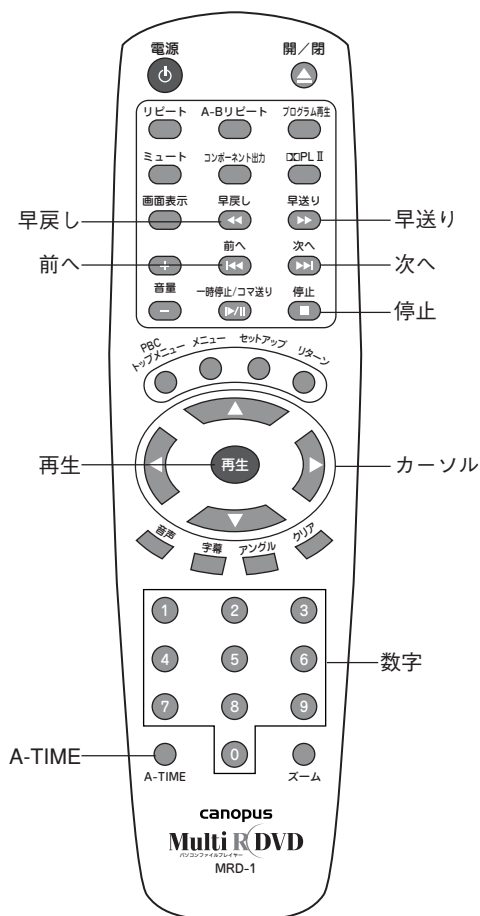
ファイルの種類を示す他のアイコンは次の通りです。

-  : MPEG ファイル
-  : AVI ファイル (DivX、XviD)
-  : WMA ファイル

●カーソルボタン (◀) を押すと、一つ上の階層に戻ります。



# MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生



## 3 カーソルボタン (▲/▼) で再生したいファイルを選び、再生ボタンを押す

選んだファイルの再生が始まります。

- 前へボタンまたは次へボタンを押すと、ファイル一覧の前ページまたは次ページへジャンプします。
- A-TIME ボタンを押したあと、数字ボタンで直接ファイル番号を選ぶこともできます。

## 再生を停止する

### 1 停止ボタンを押す

ファイルの再生が停止します。

- 再生ファイルが映像のときは、ファイルリスト画面に戻ります。

## 早送り / 早戻しする

### 1 再生中に早送りまたは早戻しボタンを押す

2倍速の早送り（早戻し）になります。

ボタンを押すたびに、再生速度が次のように切り替わります。

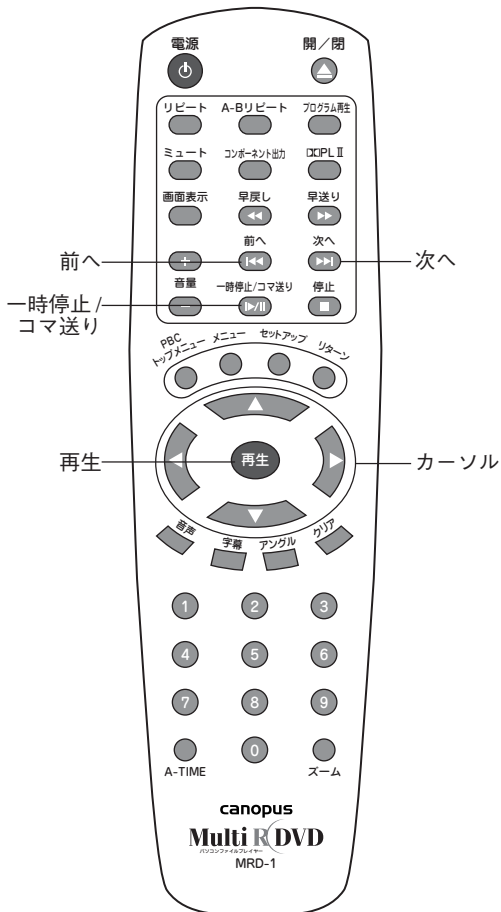
2×→4×→8×→16×→32×→通常の再生→2×→...

- 通常の再生に戻るには、再生ボタンを押します。

## MEMO

- ・再生中に他のファイルの再生に切り替える場合は、停止ボタンを押してファイルリスト画面で再生するファイルを選ぶか、数字ボタンを押してファイル番号（3桁）を入力してください。
- ・再生中にお好みの時間から再生したい場合は、A-TIME ボタンを2回押したあと、数字ボタンで時間を入力してください。
- ・A-Bリピート再生を行なう場合は、A-Bリピートボタンを押して開始点（A）と終了点（B）を指定してください。
- ・ファイルの再生では、ラストメモリ機能ははたらきません。

# MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生



ファイルを再生する

## 一時停止する

### 1 再生中に一時停止 / コマ送りボタンを押す

再生中の映像や音楽が一時停止します。

- 通常の再生に戻るには、もう一度一時停止/コマ送りボタンを押すか、再生ボタンを押します。
- コマ送り再生はできません。

## 飛び越し再生する (MPEG/DivX/XviD)

### 1 再生中に前へボタン (または次へボタン) を押す

一つ前のファイルが再生されます。

次へボタンを押すと、次のファイルが再生されます。

- 前へボタンを押すたびに、前のファイルに飛び越します。
- 次へボタンを押すたびに、次のファイルに飛び越します。

## 飛び越し再生する (MP3/WMA)

### 1 再生中にカーソルボタン (▲) (または ▼) を押したあと、再生ボタンを押す

一つ前のファイルが再生されます。

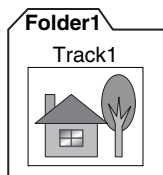
▼ボタンを押したあと再生ボタンを押すと、次のファイルが再生されます。

- カーソルボタン (▲/▼) でご希望のファイルを直接選べます。

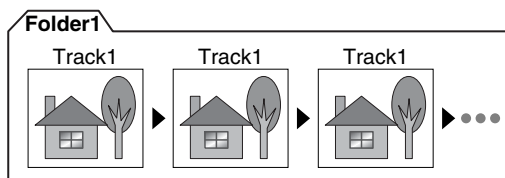
## プレイモードを選んでファイルを再生する

ファイルを再生するとき、プレイモードを選ぶことによりいろいろな再生が楽しめます。プレイモードは次の6種類の中から選べます。

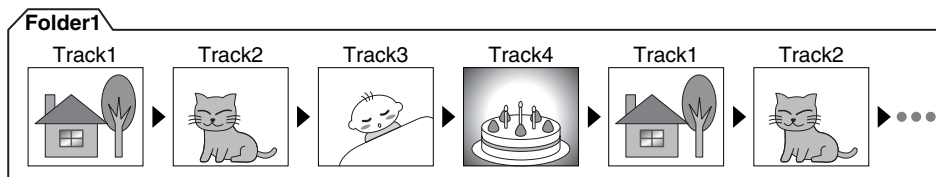
- ・シングルプレイ : 選んだファイル (トラック) を 1 回だけ再生して停止します。



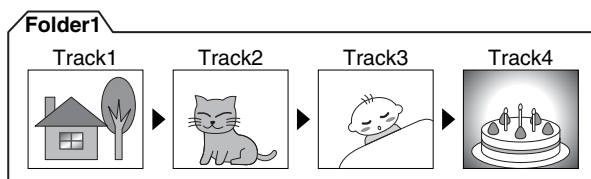
- ・シングルリピート : 選んだファイルをリピート再生します。停止ボタンを押すまで再生は続けられます。



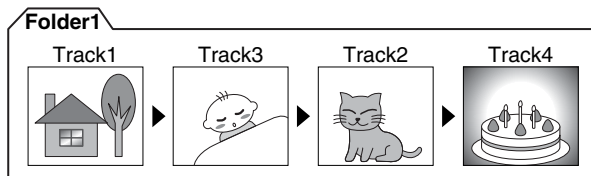
- ・フォルダリピート (画像再生時の表示は「オールリピート」) : 選んだファイルが含まれるフォルダに収録されているすべてのファイルを順番にリピート再生します。停止ボタンを押すまで再生は続けられます。



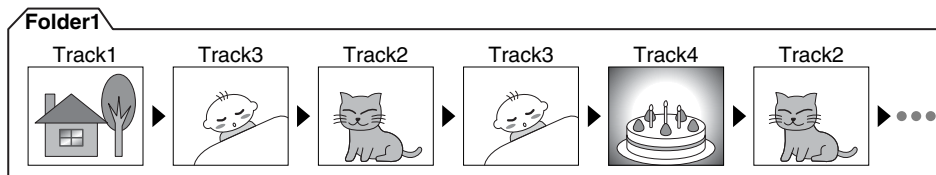
- ・フォルダ (画像再生時の表示は「リピート オフ」) : 選んだファイルが含まれるフォルダに収録されているファイルを 1 回だけ順番に再生して停止します。



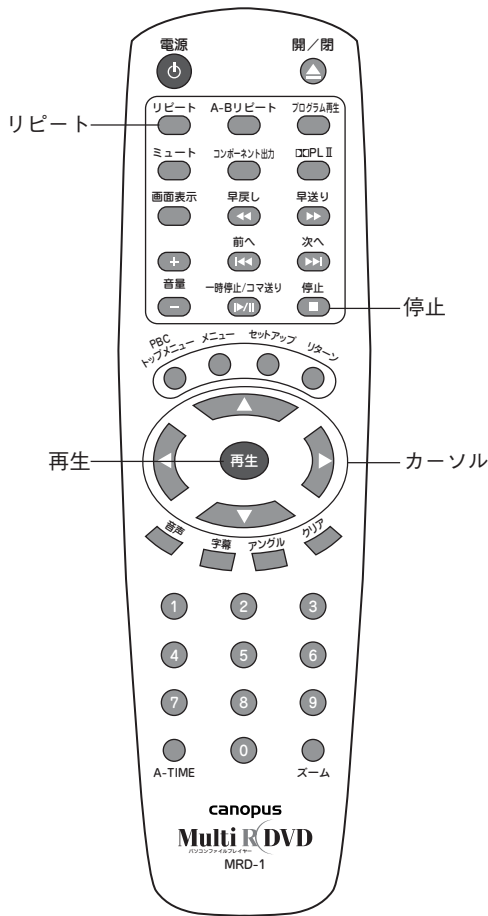
- ・シャッフル : 選んだファイルが含まれるフォルダ内のファイルをランダム再生します。一度再生されたファイルは除かれて再生され、すべてのファイルが再生されると停止します。



- ・ランダム : 選んだファイルが含まれるフォルダ内のファイルをランダム再生します。一度再生されたファイルも含んで再生され、停止ボタンを押すまで再生は続けられます。

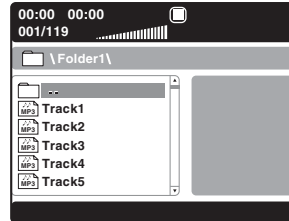


# MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生



- 1 カーソルボタン (▲/▼) で再生したいファイルが収録されているフォルダを選び、再生ボタンを押す

ファイルの一覧が表示されます。



- 2 カーソルボタン (▲/▼) で最初に再生したいファイルを選ぶ

- 3 リピートボタンを押してプレイモードを選ぶ

現在設定されているプレイモードが画面に表示されます。

ボタンを押すたびにプレイモードが切り替わります。



- 4 再生ボタンを押す

選んだプレイモードで再生が始まります。

- 再生中でもリピートボタンを押してプレイモードを切り替えることができます。

## 再生を停止する

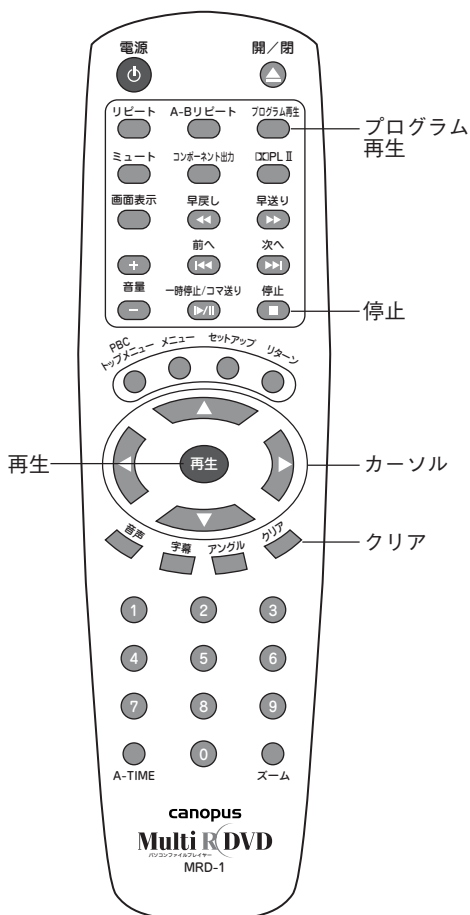
- 1 停止ボタンを押す

ファイルの再生が停止します。

- 再生ファイルが映像のときは、ファイルリスト画面に戻ります。

## ファイルをプログラム再生する

ファイルをお好みの順番にプログラムして再生することができます。



### 1 ディスクの停止中にプログラム再生ボタンを押す

ディスクに収録されているすべてのファイルの一覧 (ファイルリスト) が表示されます。

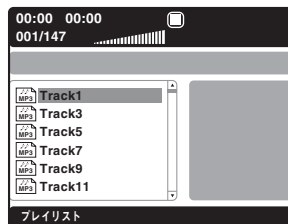


### 2 カーソルボタン (▲/▼) でプログラムするファイルを選び、クリアボタンを押す

「プレイリストに入れる」と表示され、選んだファイルがプレイリストに登録されます。この操作を繰り返すことにより最大100ファイルまで登録することができます。

### 3 プログラム再生ボタンを押す

プレイリストが表示されます。

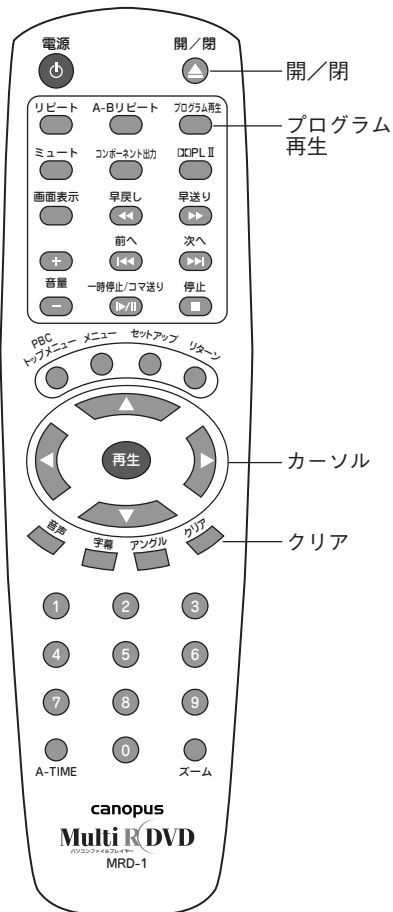


### 4 再生ボタンを押す

プログラムの順番で再生が始まります。

- 通常の再生に戻るには、停止ボタンを押したあとプログラム再生ボタンを押します。ファイルリスト画面が表示されます。

# MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生



## プログラムされているファイルを消去する

**1** ディスクの停止中にプログラム再生ボタンを何度か押し、プレイリストを表示させる

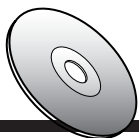
**2** カーソルボタン(▲/▼)で消去したいファイルを選び、クリアボタンを押す

「プレイリストから消す」と表示され、選んだファイルがプレイリストから消去されます。  
この操作を繰り返すことによりファイルを続けて消去することができます。

## プログラムを消去する

**1** 開/閉ボタンを押す  
プログラムが消去され、ディスクトレイが開きます。

**2** 開/閉ボタンをもう一度押す  
ディスクトレイが閉じ、ファイルリスト画面が表示されます。



# JPEG ファイル / Kodak Picture CD の再生

JPEG 形式の静止画像が収録されたディスクや Kodak Picture CD を再生できます。

## JPEG ファイル / Kodak Picture CD について

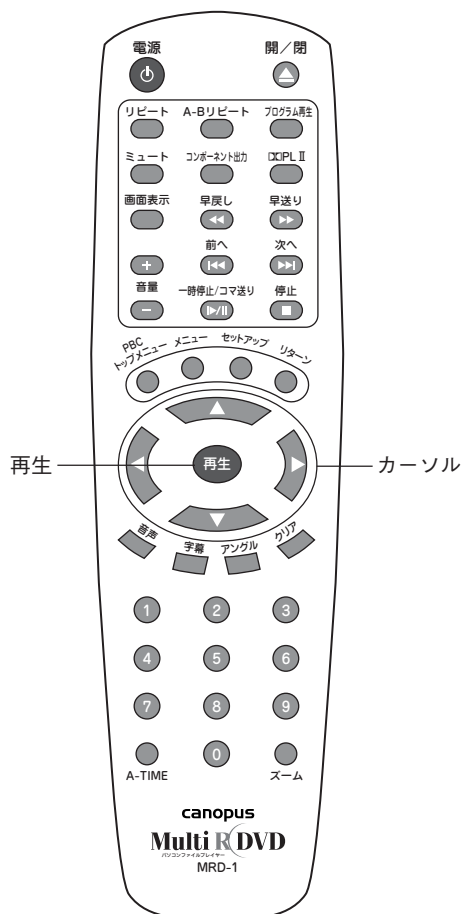
### ■ JPEG

静止画像データの圧縮形式の一つです。写真などの画像をフルカラーで 1/10～1/100 のファイル容量に圧縮します。ファイルには「.jpg」または「.jpeg」という拡張子が付きます。

### ■ Kodak Picture CD

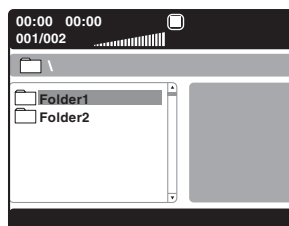
フィルムカメラによって撮影された画像を JPEG ファイル化し、CD に収録したものです。

## ファイルを再生する



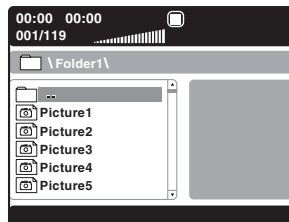
### 1 データファイルが収録されたディスクを挿入する

ファイルリスト画面が表示されます。



### 2 カーソルボタン (▲/▼) で再生したいファイルが収録されているフォルダを選び、再生ボタンを押す

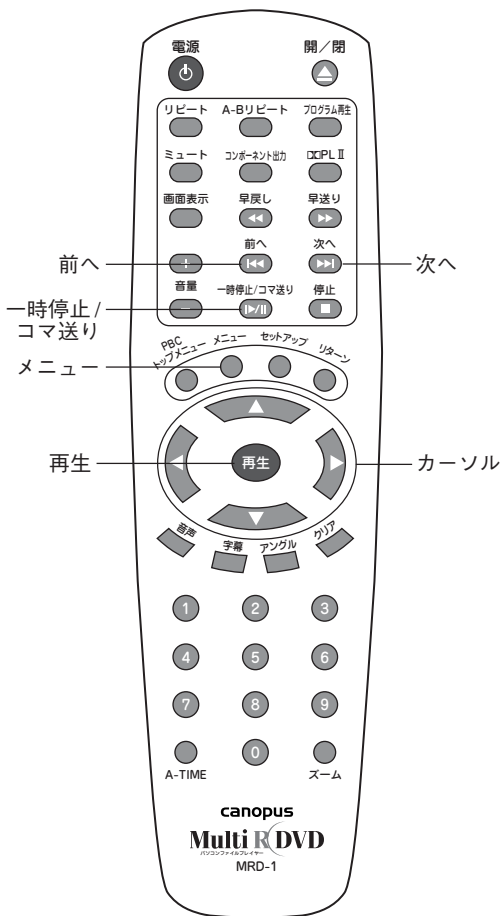
選んだフォルダに収録されているファイルの一覧が表示されます。



### MEMO

・Kodak Picture CD の詳細については、コダックのサービス取り扱い店にお問い合わせください。

# JPEG ファイル / Kodak Picture CD の再生



## 3 カーソルボタン(▲/▼)で再生したいファイルを選ぶ

画面には選んだファイルのプレビューが表示されます。

## 4 再生ボタンを押す

選んだファイルの画像が画面全体に表示されます。同時に、収録されている画像が順に画面に表示(スライドショー)されます。

- ファイルの再生がすべて終了したときは、ファイルリスト画面に戻ります。

## 再生を停止する

### 1 メニューボタンを押す

再生が停止し、ファイルリスト画面が表示されます。

## 一時停止する

### 1 再生中に一時停止 / コマ送りボタンを押す

再生中の画像が一時停止(静止)します。

- 通常の再生に戻るには、もう一度一時停止 / コマ送りボタンを押すか、再生ボタンを押します。
- コマ送り再生はできません。

## 飛び越し再生する

### 1 再生中に前へボタン(または次へボタン)を押す

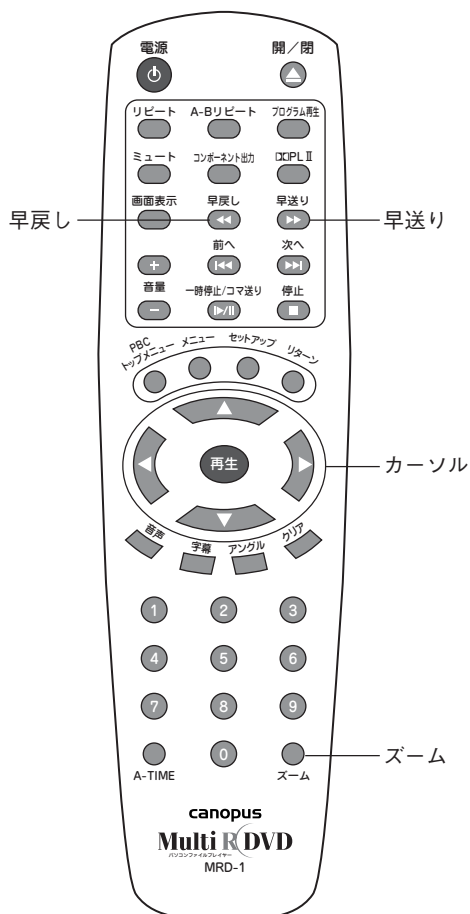
一つ前のファイルが再生されます。

次へボタンを押すと、次のファイルが再生されます。

- 前へボタンを押すたびに、前のファイルに飛び越します。
- 次へボタンを押すたびに、次のファイルに飛び越します。



# JPEG ファイル / Kodak Picture CD の再生



## 画像を反転 / 回転する

### 1 再生中にカーソルボタン (▲/▼/◀/▶) を押す

カーソルボタンによって反転/回転のしかたが変わります。

▲ボタン：画像を上下反転します。

▼ボタン：画像を表裏反転します。

◀ボタン：画像を左回転します。

▶ボタン：画像を右回転します。

- 反転/回転は現在再生している画像ファイルに対してのみ有効となります。再生ファイルが変わると反転/回転はキャンセルされます。

## 画像を拡大 / 縮小する

### 1 再生中にズームボタンを押したあと、早送りボタンまたは早戻しボタンを押す

早送りボタン：画像を拡大します。ボタンを押すたびに拡大率が125%→150%→200%の順に切り替わります。

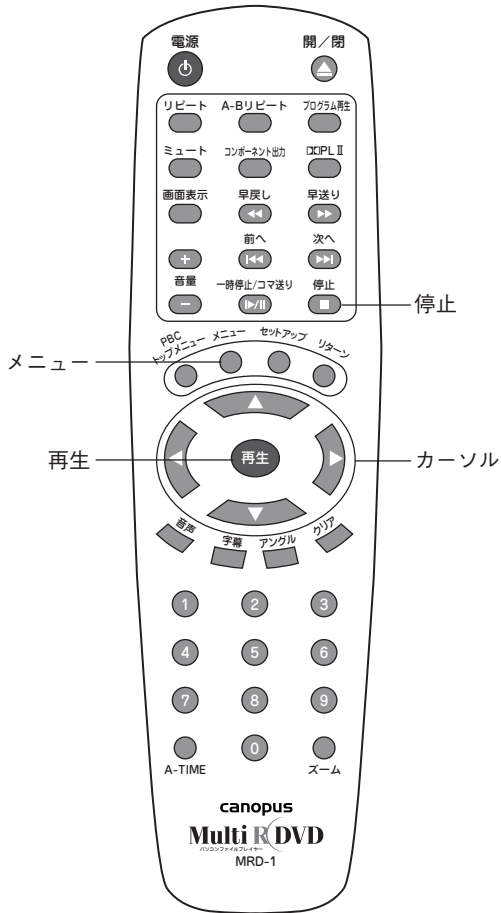
また、カーソルボタン(▲/▼/◀/▶)を押すと拡大部分を移動させることができます。

早戻しボタン：画像を縮小します。ボタンを押すたびに縮小率が75%→50%の順に切り替わります。

- 拡大/縮小したときは、画像が一時停止(静止)状態となります。ズームボタンをもう一度押すと、通常の再生に戻ります。

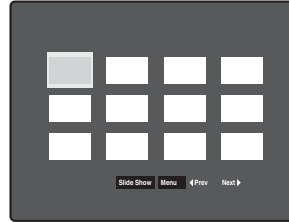
# JPEG ファイル / Kodak Picture CD の再生

## 画像を一覧表示する



### 1 再生中に停止ボタンを押す

最大12枚の画像一覧と、画面下に「Slide Show」、「Menu」、「← Prev」、「Next →」が表示されます。



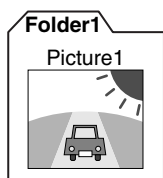
この画面の機能は以下の通りです。

- 画像をカーソルボタン (▲/▼/◀/▶) で選び再生ボタンを押すと、選んだ画像が画面全体に表示され、続いてスライドショーが始まります。
  - 「Slide Show」を選び再生ボタンを押すと、最初の画像からスライドショーが始まります。
  - 「Menu」を選び再生ボタンを押すと、JPEGファイル再生時の機能とボタンの説明が表示されます。
  - 「← Prev」または「Next →」を選び再生ボタンを押すと、前の画面または次の画面に変わります。
- メニューボタンを押すとファイルリスト画面に戻ります。

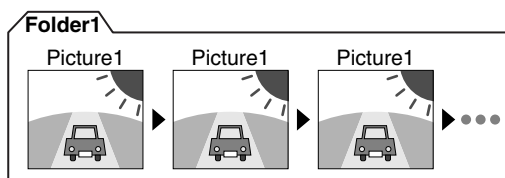
## プレイモードを選んでファイルを再生する

ファイルを再生するとき、プレイモードを選ぶことによりいろいろな再生が楽しめます。プレイモードは次の6種類の中から選べます。

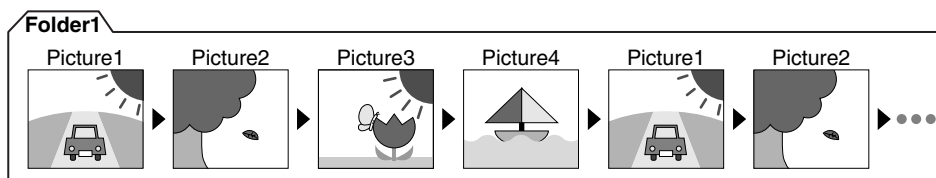
- ・シングルプレイ : 選んだファイル (ピクチャー) を 1 回だけ再生して停止します。



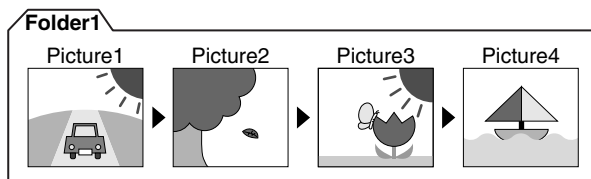
- ・シングルリピート : 選んだファイルを再生します。メニューボタンまたは停止ボタンを押すまで再生は続けられます。



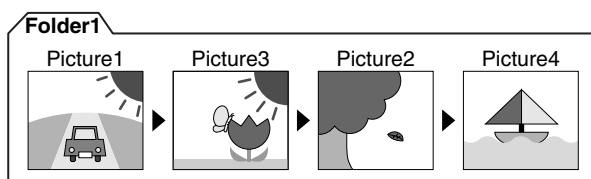
- ・フォルダリピート (画像再生時の表示は「オールリピート」) : 選んだファイルが含まれるフォルダに収録されているすべてのファイルを順番にリピート再生します。メニューボタンまたは停止ボタンを押すまで再生は続けられます。



- ・フォルダ (画像再生時の表示は「リピート オフ」) : 選んだファイルが含まれるフォルダに収録されているファイルを 1 回だけ順番に再生して停止します。

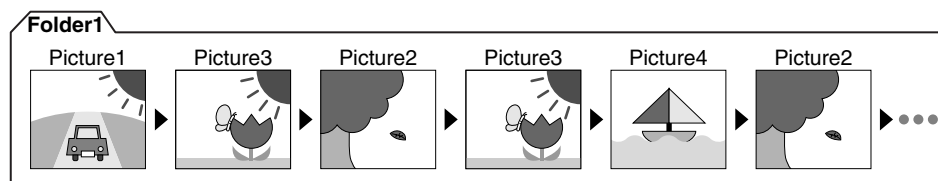


- ・シャッフル : 選んだファイルが含まれるフォルダ内のファイルをランダム再生します。一度再生されたファイルは除かれて再生され、すべてのファイルが再生されると停止します。



## JPEG ファイル / Kodak Picture CD の再生

- ・ランダム : 選んだファイルが含まれるフォルダ内のファイルをランダム再生します。一度再生されたファイルも含んで再生され、メニューボタンまたは停止ボタンを押すまで再生は続けられます。



再生のしかたは MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生の「プレイモードを選んでファイルを再生する」と同じです。43 ページをご覧ください。

### ファイルをプログラム再生する

ファイルをお好みの順番にプログラムして再生することができます。プログラム再生のしかたは MPEG/MP3/DivX/XviD/WMA ファイルの再生の「ファイルをプログラム再生する」と同じです。45 ページをご覧ください。

### スライドショーを楽しむ

ファイルを再生したとき、自動的にスライドショーが始まりますが、スライドショーモードを選ぶことにより、いろいろなパターン of スライドショーを楽しむことができます。スライドショーモードは次の 16 種類の中から選べます。

- ・ロール：上から下 : 上から下へページが変わります。



- ・ロール：下から上 : 下から上へページが変わります。



- ・ロール：左から右 : 左から右へページが変わります。














- ・ロール：右から左 : 右から左へページが変わります。



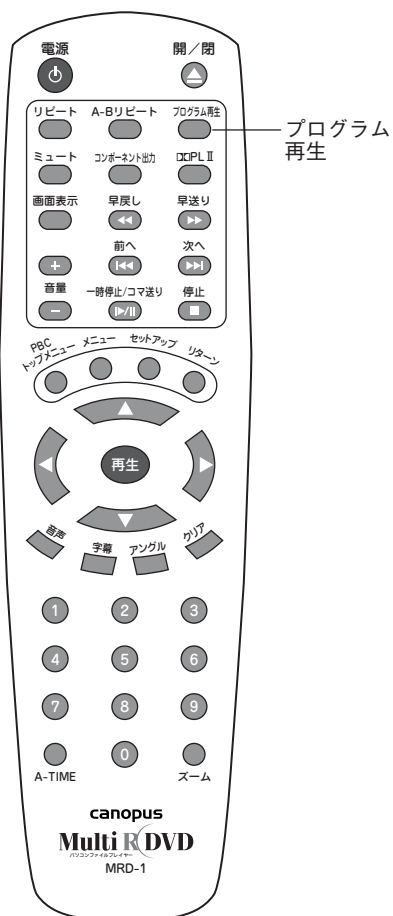
- ・ロール：左上から右下 : 左上から右下へページが変わります。



## JPEG ファイル / Kodak Picture CD の再生

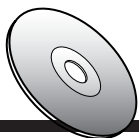
- ・ロール：右上から左下  
 : 右上から左下へページが変わります。  

- ・ロール：左下から右上  
 : 左下から右上へページが変わります。  

- ・ロール：右下から左上  
 : 右下から左上へページが変わります。  

- ・ロール：中央から上下  
 : 中央から上下へページが変わります。  

- ・ロール：中央から左右  
 : 中央から左右へページが変わります。  

- ・ロール：上下から中央  
 : 上下から中央へページが変わります。  

- ・ロール：左右から中央  
 : 左右から中央へページが変わります。  

- ・ブラインド：上から下  
 : 水平にブラインド状にページが変わります。  

- ・ブラインド：左から右  
 : 垂直にブラインド状にページが変わります。  

- ・ロール：上下左右から中央  
 : 外側から中心へページが変わります。  

- ・フェード：上から下  
 : 画面が徐々に消えて次の画面があらわれます。  


## JPEG ファイル / Kodak Picture CD の再生



### 1 再生中にプログラム再生ボタンを押す

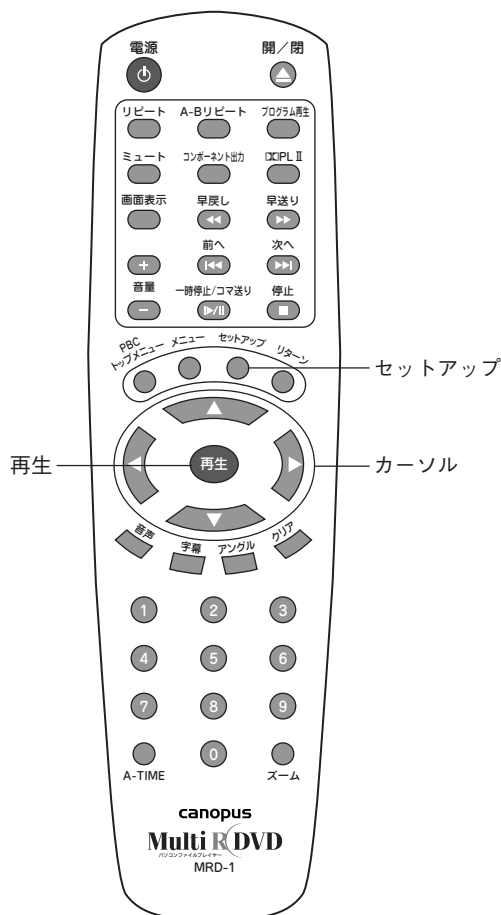
ボタンを押すたびにスライドショーモードが切り替わります。



# 機能設定

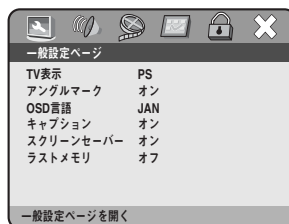
工場出荷時の設定を、お使いの条件やお好みに合わせて変更することができます。

## 設定のしかた



### 1 セットアップボタンを押す

セットアップメニュー画面が表示されます。



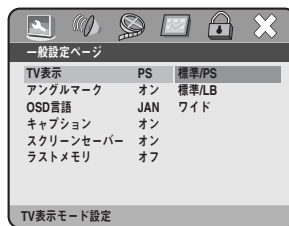
### 2 カーソルボタン (◀/▶) で設定するカテゴリのアイコンを選び、再生ボタンを押す

### 3 カーソルボタン (▲/▼) で設定する項目を選ぶ

選択肢または設定画面が表示されます。

現在の設定内容はオレンジ色のカーソルで表示されます。

- 設定項目によっては、カーソルボタン (▶) を押すことにより選択肢または設定画面が表示されます。



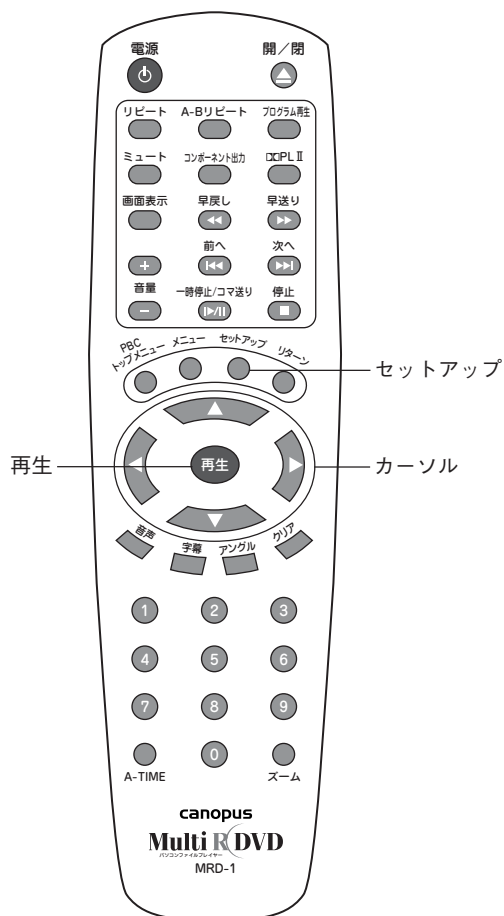
### 4 再生ボタンまたはカーソルボタン (▶) を押す

オレンジ色のカーソルが黄色に変わります。

#### MEMO

- ・お好み設定 (70 ページ) は、ディスクがトレイにセットされている状態では行なうことができません。ディスクがセットされていない状態か、ディスクトレイが開の状態のときに設定してください。

## 機能設定



**5** カーソルボタン(▲/▼)で設定する内容を選び、再生ボタンを押す  
選んだ内容が設定され、オレンジ色のカーソルに変わります。

- 引き続き設定を行なう場合は、上記の操作を繰り返してください。

**6** 設定が終わったらセットアップボタンを押す

セットアップメニュー画面が終了します。

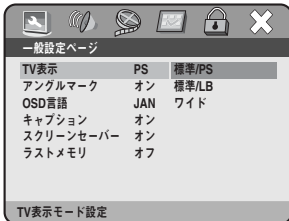
- セットアップメニュー画面の「X」アイコンを選んで再生ボタンを押してもセットアップメニュー画面が終了します。



## 一般設定をする

### ■ TV 表示（初期設定：標準 /PS）

ワイドサイズ（16：9 画面）映像の映し方を接続するテレビに合わせて設定します。



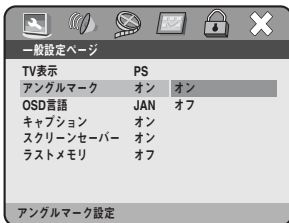
**標準 /PS**：標準サイズ（4：3 画面）のテレビと接続し、テレビ画面いっぱいに映像を見たいときに設定します。この場合、映像の左右が切れて映ります。

**標準 /LB**：標準サイズ（4：3 画面）のテレビと接続し、映像の縦横比のままの画面で見たいときに設定します。この場合、画面の上下に黒い部分が残ります。

**ワイド**：ワイドテレビ（16：9 画面）に接続したときに設定します。

### ■アングルマーク（初期設定：オン）

ディスクによっては、特定のシーンで複数のカメラアングルで撮影されている場合があります。この場合、再生中にアングルマークを画面に表示させるかどうかを設定します。

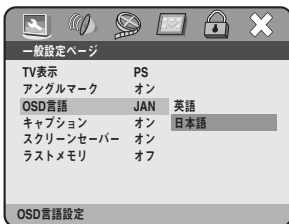


**オン**：画面にアングルマークを表示します。

**オフ**：画面にアングルマークを表示しません。

### ■ OSD 言語（初期設定：日本語）

機能設定画面などに表示する言語を設定します。

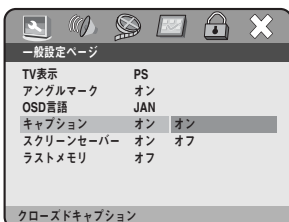


**英語**：画面表示の言語が英語になります。

**日本語**：画面表示の言語が日本語になります。

### ■キャプション（初期設定：オン）

場面の状況を解説する字幕（キャプション）が収録されているDVDを再生した場合、解説字幕を自動的に表示させるかどうかを設定します。



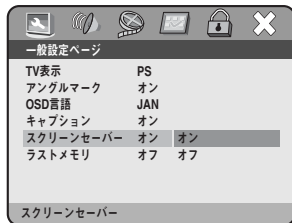
**オン**：解説字幕を自動的に表示します。

**オフ**：解説字幕を表示しません。

# 機能設定

## ■スクリーンセーバー（初期設定：オン）

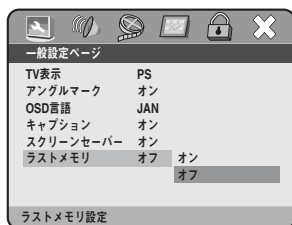
一時停止などで、同じ画像が3分以上続いたときの画像の焼き付きを防ぐための機能（スクリーンセーバー）をはたらかせるかどうかを設定します。



オン：スクリーンセーバー機能をオンにします。  
オフ：スクリーンセーバー機能をオフにします。

## ■ラストメモリ（初期設定：オフ）

前回停止した位置から再生を開始する機能（ラストメモリ）をはたらかせるかどうかを設定します。



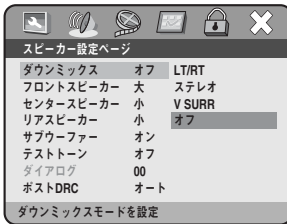
オン：ラストメモリ機能をオンにします。  
オフ：ラストメモリ機能をオフにします。

## オーディオ設定をする

### ■スピーカー設定

#### ダウンミックス（初期設定：オフ）

ドルビーデジタルなどのマルチチャンネル（3チャンネル以上）の音声を2チャンネルにダウンミックスして再生するときのダウンミックスの種類を設定します。



**LT/RT** : マルチチャンネル音声をダウンミックスして2チャンネルサラウンド音声で出力します。

2チャンネル入力のドルビープロロジック対応AVアンプと接続し、音声を4チャンネル（フロント左右、センター、リア）のサラウンドで楽しむときに選びます。

**ステレオ** : マルチチャンネル音声をダウンミックスしてステレオ音声で出力します。

2チャンネル入力のAVアンプやテレビと接続し、音声をステレオで楽しむときに選びます。

**V SURR** : マルチチャンネル音声をダウンミックスしてバーチャルサラウンド音声（2本のスピーカーによる擬似サラウンド音声）で出力します。

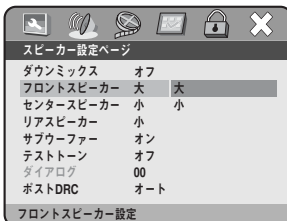
2チャンネル入力のAVアンプやテレビと接続し、音声をバーチャルサラウンドで楽しむときに選びます。

**オフ** : ダウンミックスを行わず、それぞれのチャンネルの音声をそのまま出力します。

5.1チャンネル入力のAVアンプやドルビーデジタル/DTSデコーダ付きAVアンプと接続し、音声を5.1チャンネルサラウンドで楽しむときに選びます。

#### フロントスピーカー（初期設定：大）

フロントスピーカーのサイズを設定します。



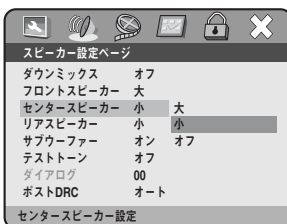
**大** : 大型のフロントスピーカーを使用するときに選びます。

**小** : 小型のフロントスピーカーを使用するときに選びます。

#### センタースピーカー（初期設定：小）

センタースピーカーの有無やサイズを設定します。

ダウンミックス設定が「オフ」の場合のみ設定できます。



**大** : 大型のセンタースピーカーを使用するときに選びます。

**小** : 小型のセンタースピーカーを使用するときに選びます。

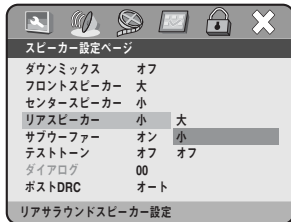
**オフ** : センタースピーカーを使用しないときに選びます。

## 機能設定

### リアスピーカー（初期設定：小）

リアスピーカーの有無やサイズを設定します。

ダウンミックス設定が「オフ」の場合のみ設定できます。



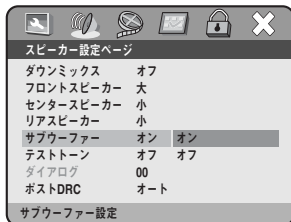
大：大型のリアスピーカーを使用するときに選びます。

小：小型のリアスピーカーを使用するときに選びます。

オフ：リアスピーカーを使用しないときに選びます。

### サブウーファー（初期設定：オン）

サブウーファースピーカーの有無を設定します。



オン：サブウーファースピーカーを使用するときに選びます。

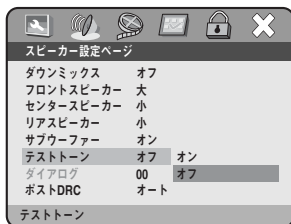
オフ：サブウーファースピーカーを使用しないときに選びます。

### テストトーン（初期設定：オフ）

テストトーンを出力するかどうかを設定します。スピーカーからの音声は正常に出力されているかを確認することができます。

フロントスピーカー（左）→センタースピーカー→フロントスピーカー（右）→サブウーファースピーカー→リアスピーカー（右）→リアスピーカー（左）の順にテストトーンを発生します。

ダウンミックス設定が「オフ」の場合のみ設定できます。



オン：テストトーンを出力します。

オフ：テストトーンを出力しません。

### ダイアログ（初期設定：00）

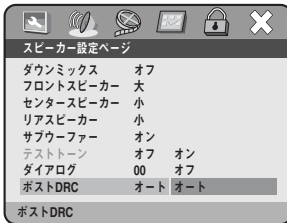
会話の部分の音量を上げ、聴きとりやすくします。0～20の間で設定します。

ダウンミックス設定が「LT/RT」または「ステレオ」の場合のみ設定できます。



### ポスト DRC（初期設定：オート）

音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します（DRC：ダイナミックレンジコンプレッション）。DRCを使用することにより、爆発音などの大音量をおさえ、台詞などの小さい音声を聴きとりやすくします。



オン：DRCを使用します。

オフ：DRCを使用しません。

オート：音声を判別し、DRCのオン/オフを自動的に切り替えます。

## ■ SPDIF 設定

光または同軸デジタル出力の出力モードを設定します。

### SPDIF 出力（初期設定：SPDIF/RAW）

デジタル出力の出力モードを設定します。



SPDIF Off：デジタル出力から信号が出ません。

SPDIF/RAW：デジタル出力端子からドルビーデジタル対応またはDTS対応アンプに接続しているときに選びます。

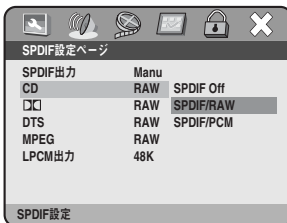
SPDIF/PCM：デジタル出力端子から2チャンネルのデジタル端子付きアンプに接続しているときに選びます。

ドルビーデジタル音声ディスクを再生したときは2チャンネルPCMで出力されます。

マニュアル：音声ソースごとに出力モードを設定します。

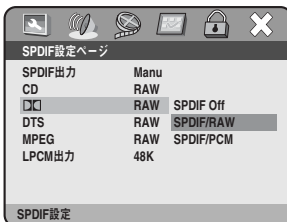
### CD（初期設定：SPDIF/RAW）

SPDIF出力設定が「マニュアル」の場合のみ設定できます。



### □□（ドルビーデジタル）（初期設定：SPDIF/RAW）

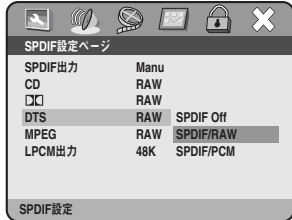
SPDIF出力設定が「マニュアル」の場合のみ設定できます。



# 機能設定

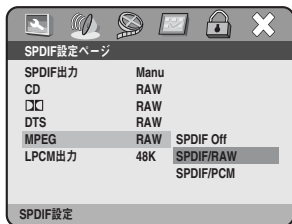
## DTS（初期設定：SPDIF/RAW）

SPDIF 出力設定が「マニュアル」の場合のみ設定できます。



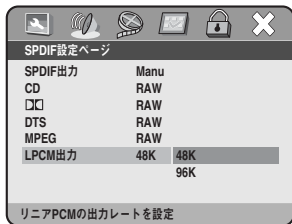
## MPEG（初期設定：SPDIF/RAW）

SPDIF 出力設定が「マニュアル」の場合のみ設定できます。



## LPCM 出力（初期設定：48K）

96kHz のリニア PCM 音声信号をそのまま出力するか 48kHz に変換して出力するかを設定します。



48K：96kHz のリニア PCM 音声信号を 48kHz に変換して出力します。  
96kHz 対応アンプと接続していないときに選びます。

96K：96kHz のリニア PCM 音声信号をそのまま出力します。  
96kHz 対応アンプと接続しているときに選びます。

ただし、著作権保護のためのコピーガード信号がディスクに記録されているときは、48kHz で出力されます。

## ■ DOLBY (ドルビー) 設定

### デュアルモノラル（初期設定：ステレオ）

デュアルモノラルのフォーマットで記録されたドルビーデジタル音声の出力を設定します。



ステレオ：左右チャンネルをステレオで設定します。

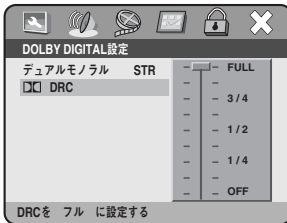
左チャンネル：左チャンネルをモノラルで出力します。

右チャンネル：右チャンネルをモノラルで出力します。

ミックス：左右チャンネルをミックスしてモノラルで出力します。

## □□ DRC（初期設定：FULL）

ドルビーデジタル音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。  
設定を切り替えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生します。  
設定はカーソルボタン（▲/▼）で行ないます。



FULL：レベル調整の度合いを最大限にします。  
OFF：レベル調整を行ないません。

## ■出力遅延設定

サラウンド音声を楽しむ場合、リスニングポジション（視聴位置）からスピーカーまでの距離はすべて等しくすることが理想ですが、それが不可能な場合、フロントスピーカーからの距離を基準とし、各スピーカーからの距離を補正します。

センタースピーカー、リアスピーカーとサブウーファースピーカーに対して設定できます。  
カーソルボタン（▲/▼）でスピーカーを選び、カーソルボタン（◀/▶）で距離を設定します。



（設定例）

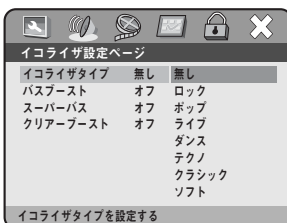
リスニングポジションからフロントスピーカーまでの距離が300cmで、リスニングポジションからセンタースピーカーからの距離が250cmの場合、距離の差は300cm - 250cm = 50cmとなります。この場合はセンタースピーカーの設定を50cmにします。

- センタースピーカー：0～170cmの範囲で10cmきざみで設定できます。（初期値：0cm）
- リアスピーカー（右・左）：0～510cmの範囲で10cmきざみで設定できます。（初期値：170cm）
- サブウーファースピーカー：0～510cmの範囲で10cmきざみで設定できます。（初期値：0cm）

## ■イコライザ

### イコライザタイプ（初期設定：無し）

あらかじめ設定された7つのイコライザモードから、お聴きになる音楽のジャンルに合わせてお好みの音質が選べます。

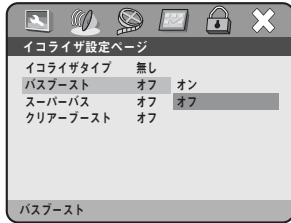


- 無し：イコライザをオフにします。
- ロック：ロックミュージックなどのパワフルな曲に適したモードです。
- ポップ：ポップスなどの軽快な曲に適したモードです。
- ライブ：ライブ録音された曲に適したモードです。
- ダンス：ダンスミュージックなどのテンポの速い曲に適したモードです。
- テクノ：テクノミュージックなどの機械的な曲に適したモードです。
- クラシック：クラシックなどの静かな曲に適したモードです。
- ソフト：全体的に優しい感じのサウンドで楽しめるモードです。

# 機能設定

## バスブースト（初期設定：オフ）

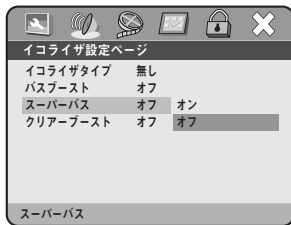
お聴きになる曲の低音を強調して再生することができます。



オン：低音を強調して再生します。  
オフ：低音を強調しません。

## スーパーバス（初期設定：オフ）

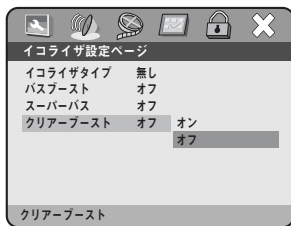
お聴きになる曲の重低音を強調して再生することができます。



オン：重低音を強調して再生します。  
オフ：重低音を強調しません。

## クリアブースト（初期設定：オフ）

お聴きになる曲の高音を強調して再生することができます。



オン：高音を強調して再生します。  
オフ：高音を強調しません。

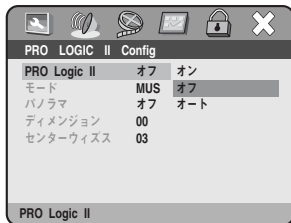
## ■ 3D プロセッシング

### Pro Logic II（初期設定：オフ）

テレビやCDなどの2チャンネルステレオ音声をエンコードし、マルチチャンネルサラウンド環境で再生することができます。（Dolby Pro Logic II）

この機能をはたらかせるかどうかを設定します。

ダウンミックス設定が「オフ」の場合のみ設定できます。



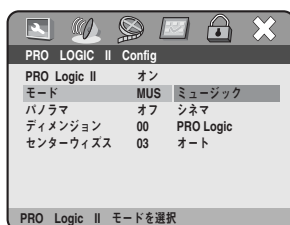
オン：すべての音声はDolby Pro Logic IIモードで再生されます。  
オフ：Dolby Pro Logic IIモードをオフにします。  
オート：音声はステレオの場合、自動的にDolby Pro Logic IIモードで再生されます。



## モード（初期設定：ミュージック）

Dolby Pro Logic IIの再生モードを設定します。

Pro Logic II設定が「オン」または「オート」の場合のみ設定できます。



ミュージック：音楽再生に適した音声に調節します。

シネマ：映画再生に適した音声に調節します。

PRO Logic：Dolby Pro Logicモード（フロント左右、センター、リアの4チャンネル）で再生します。

オート：音声を自動的に判別し、ミュージック/シネマ/PRO Logicのいずれかのモードで再生します。

## パノラマ（初期設定：オフ）

フロントスピーカーで再生されるサウンドのイメージをサラウンドスピーカーに広げ、臨場感のあるサウンド環境を作ることができます。

Pro Logic II設定が「オン」または「オート」の場合のみ設定できます。



オン：パノラマモードをオンにします。

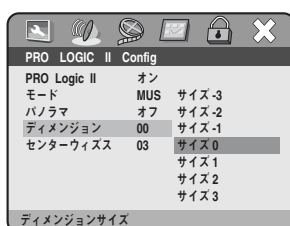
オフ：パノラマモードをオフにします。

## ディメンジョン（初期設定：サイズ 0）

スピーカーの音量バランスをフロント3ステップ、リア3ステップの範囲で設定します。

サラウンド効果が強すぎる場合はフロント側（サイズ 1～3）、弱すぎる場合はリア側（サイズ -1～-3）に調整します。

Pro Logic II設定が「オン」または「オート」の場合のみ設定できます。



サイズ -1/-2/-3：音量バランスをリア側に設定します。-3がリア側に最大限に設定した状態となります。

サイズ 0：音量バランスをフロント・リア中立の状態に設定します。

サイズ 1/2/3：音量バランスをフロント側に設定します。3がフロント側に最大限に設定した状態となります。

## センターウィズス（初期設定：レベル 3）

センタースピーカーの音声信号をレベル0～7までの8段階でフロントスピーカーに振り分けることができます。

この設定により、センタースピーカーと左右フロントスピーカーの音の配分を調整し、センタースピーカーからの音の重量感を調整できます。

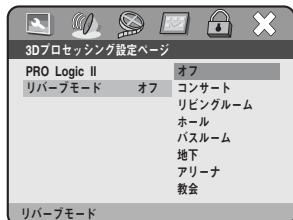
Pro Logic II設定が「オン」または「オート」の場合のみ設定できます。



## 機能設定

### リバーブモード（初期設定：オフ）

あらかじめ設定されている7つのリバーブ（残響）モードで臨場感あふれる音声を再現することができます。

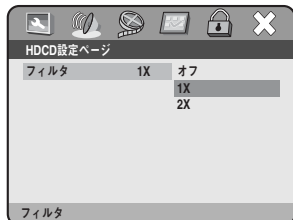


- オフ : リバーブモードをオフにします。
- コンサート : コンサート会場にいるような臨場感が得られます。
- リビングルーム : リビングルームにいるような臨場感が得られます。
- ホール : ホールにいるような臨場感が得られます。
- バスルーム : バスルームにいるような臨場感が得られます。
- 地下 : 地下室にいるような臨場感が得られます。
- アリーナ : 広いアリーナにいるような臨場感が得られます。
- 教会 : 教会にいるような臨場感が得られます。

### ■ HDCD

#### フィルタ（初期設定：1X）

リザーブ機能です。設定する必要はありません。



## ビデオ設定をする

### ■コンポーネント（初期設定：YUV）

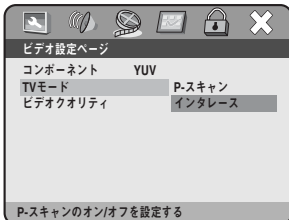
コンポーネントビデオ出力を設定します。



オフ：コンポーネントビデオ出力端子より信号が出力されません。  
 YUV：コンポーネントビデオ出力端子より YUV 信号が出力されます。  
 コンポーネントビデオ接続している場合はこのモードを選びます。  
 RGB：コンポーネントビデオ出力端子より RGB 信号が出力されます。

### ■TVモード（初期設定：インタレース）

映像の出力形式を設定します。



P-スキャン：プログレッシブ対応テレビと接続しているときに選びます。  
 インタレース：プログレッシブ対応していないテレビと接続しているときに選びます。

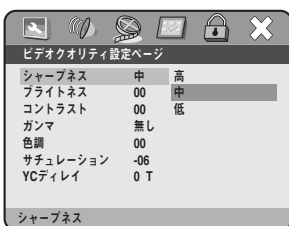
※プログレッシブ映像を楽しむ場合は、プログレッシブ対応テレビとそれに応じた接続が必要です。（14 ページ）

### ■ビデオクオリティ

画質を設定します。

#### シャープネス（初期設定：中）

画像の鮮明度を設定します。



高：輪郭を強調したシャープな映像になります。  
 中：やや輪郭を強調した映像になります。  
 低：輪郭を適度に保った映像になります。

#### ブライトネス（初期設定：0）

画像の明るさを設定します。

－側（－1～－20）に設定すると画像が暗くなり、＋側（＋1～＋20）に設定すると画像が明るくなります。  
 設定はカーソルボタン（◀▶）で行ないます。



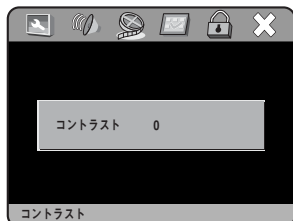
## 機能設定

### コントラスト（初期設定：0）

最も明るい部分と最も暗い部分の明るさの比率を設定します。

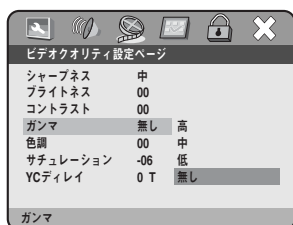
－側（－1～－16）に設定すると明るい部分と暗い部分の比率が大きくなり、＋側（＋1～＋16）に設定すると明るい部分と暗い部分の比率が小さくなります。

設定はカーソルボタン（◀▶）で行ないます。



### ガンマ（初期設定：無し）

画像の明るい部分はそのまま、暗い部分を明るく補正します。



高 / 中 / 低：暗い部分を明るく補正します。「低」から順に明るくなり、「高」が一番明るくなります。

無し：オリジナルの明るさで再生します。

### 色調（初期設定：0）

緑色と赤色のバランスを設定します。

－側（－1～－9）に設定すると赤色が強調され、＋側（＋1～＋9）に設定すると緑色が強調されます。

設定はカーソルボタン（◀▶）で行ないます。

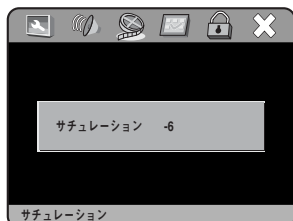


### サチュレーション（初期設定：-6）

色の濃さを設定します。

－側（－1～－9）に設定すると色が薄くなり、＋側（＋1～＋9）に設定すると色が濃くなります。

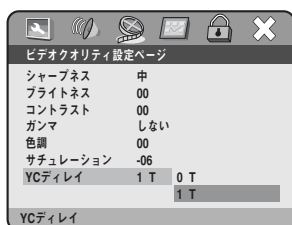
設定はカーソルボタン（◀▶）で行ないます。



## YC ディレイ（初期設定：1T）

画像の色ずれを補正します。

文字の縁など、細かい部分の色が自然に見えるほうを「0T」または「1T」から選びます。



# 機能設定

## お好みの設定をする

### ■ TV タイプ (初期設定 : NTSC)

ご使用のテレビの映像信号方式を設定します。



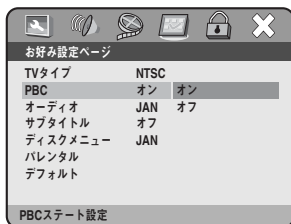
PAL : ご使用のテレビが PAL 方式のときに選びます。

Multi : ご使用のテレビがNTSC方式とPAL方式の両方に対応しているときに選びます。

NTSC : ご使用のテレビがNTSC方式のときに選びます。通常はこのモードを選んでください。(国内で使われているテレビはNTSC方式です。)

### ■ PBC (初期設定 : オン)

PBC (プレイバックコントロール) 付きのビデオCDには、メニュー画面や検索画面が含まれているものがあります。PBC 付きのビデオCDを再生した場合、これらの画面を表示させるかどうかを設定します。

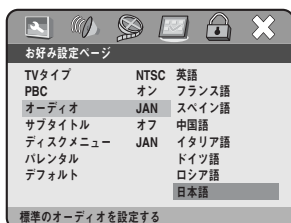


オン : メニュー画面や検索画面を表示します。

オフ : メニュー画面や検索画面を表示しません。

### ■ オーディオ (初期設定 : 日本語)

ディスクに複数の音声言語が収録されている場合、優先して再生する音声言語を設定します。



英語 : 音声言語が英語になります。

フランス語 : 音声言語がフランス語になります。

スペイン語 : 音声言語がスペイン語になります。

中国語 : 音声言語が中国語になります。

イタリア語 : 音声言語がイタリア語になります。

ドイツ語 : 音声言語がドイツ語になります。

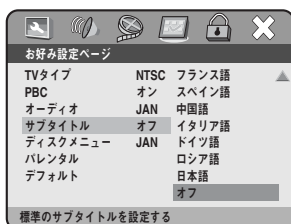
ロシア語 : 音声言語がロシア語になります。

日本語 : 音声言語が日本語になります。

※設定した言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクのオリジナル言語が再生されます。

### ■ サブタイトル (初期設定 : オフ)

ディスクに複数の字幕が収録されている場合、優先して表示する字幕を設定します。



英語 : 英語の字幕が表示されます。

フランス語 : フランス語の字幕が表示されます。

スペイン語 : スペイン語の字幕が表示されます。

中国語 : 中国語の字幕が表示されます。

イタリア語 : イタリア語の字幕が表示されます。

ドイツ語 : ドイツ語の字幕が表示されます。

ロシア語 : ロシア語の字幕が表示されます。

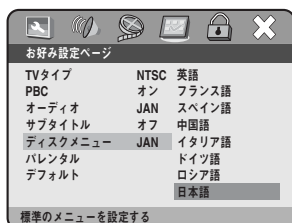
日本語 : 日本語の字幕が表示されます。

オフ : 字幕が表示されません。

※設定した字幕がディスクに収録されていない場合は、ディスクのオリジナルの字幕が表示されます。

## ■ディスクメニュー（初期設定：日本語）

ディスクに複数の言語のメニューが収録されている場合、優先して表示するメニュー画面を設定します。

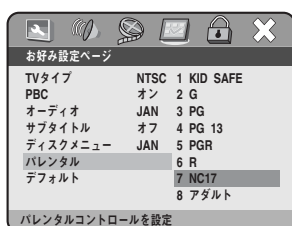


- 英語：英語のメニュー画面が表示されます。
- フランス語：フランス語のメニュー画面が表示されます。
- スペイン語：スペイン語のメニュー画面が表示されます。
- 中国語：中国語のメニュー画面が表示されます。
- イタリア語：イタリア語のメニュー画面が表示されます。
- ドイツ語：ドイツ語のメニュー画面が表示されます。
- ロシア語：ロシア語のメニュー画面が表示されます。
- 日本語：日本語のメニュー画面が表示されます。

※設定した言語のメニュー画面がディスクに収録されていない場合は、ディスクのオリジナルのメニュー画面が表示されます。

## ■パレンタル（初期設定：7 NC17）

暴力シーンなどが含まれるDVDの中には、視聴制限（パレンタルロック）のレベルを設けたものがあります。本機のレベルをディスクで設定されているレベル（ジャケットなどの表示で確認できます）より小さくしておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。



- 1 KID SAFE：子供向けのDVDのみを再生したい場合に選びます。（成人向けと一般向けのDVDの再生を禁止します。）
  - 2 G
  - 3 PG
  - 4 PG 13
  - 5 PGR
  - 6 R
  - 7 NC17
  - 8 アダルト：すべてのDVD（成人向け／一般向け／子供向け）を再生したい場合に選びます。
- 一般向けと子供向けのDVDのみを再生したいときに選びます。（成人向けのDVDの再生を禁止します。）

選んだレベルより上のレベルのディスクは再生できなくなります。

例えば、レベル6を設定すると、レベル7および8のディスクはロックされ、再生できなくなります。

※「パスワードモード」設定（72ページ）を「オン」にしている場合、レベルを変更するにはパスワードを入力する必要があります。

## ■デフォルト

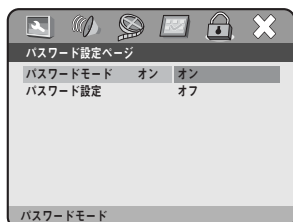
パレンタル設定とパスワード設定以外の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。



### パスワード設定をする

#### ■パスワードモード（初期設定：オン）

パレンタル設定（71 ページ）のレベルを変更する場合に、パスワードを要求するかどうかを設定します。



オン：パスワード入力画面が表示され、パスワードを要求します。  
オフ：パスワードを要求しません。

※設定を変更する場合、パスワードを入力する必要があります。

#### ■パスワード設定

設定したパスワードを変更します。



旧パスワード：前に登録したパスワードを5けたの数字で入力します。  
新パスワード：新しく登録するパスワードを5けたの数字で入力します。  
新パスワード確認：確認のため、新しく登録するパスワードをもう一度入力します。

入力が終わったら再生ボタンを押します。

※工場出荷時のパスワードは「49540」に設定されています。初めてパスワードを変更する場合またはパスワードを忘れてしまった場合は、数字ボタンで「49540」を入力してください。





# 「かんたん換太郎」を使う

## はじめに

「かんたん換太郎」は、コンピュータで作成した動画ファイルを本機で再生できる形式の DivX や MPEG (MPEG-2) に変換し、CD や DVD に書き込み (ライティング) するソフトウェアです。形式や品質などを指定したあと、ファイルをアイコン上にドラッグして「開始」ボタンを押すだけで、ファイル変換と書き込みの両方を同時に行なうことができます。

「かんたん換太郎」で読み込める (変換できる) ファイルは、DivX、MPEG-1、MPEG-2、WMV、AVI の音声付き動画ファイルのみです。

※ファイルによっては、正しく変換できない、またはディスクへ書き込めない場合があります。

### ■動作環境 (パソコンの仕様)

CPU : Intel Pentium II 350MHz 以上、または同等以上の CPU

ドライブ : CD-ROM ドライブ (ソフトウェアのセットアップに必要です。)

CD-R/-RW ドライブ、または DVD-R/-RW/+R/+RW ドライブ (ファイルをディスクに書き込む場合に必要です。)

OS : Microsoft Windows 2000 Professional

Microsoft Windows XP Home Edition/Professional

### ■使用上のご注意

- ・ファイルを CD に記録しプレーヤーで再生したときに、映像がカクカクした感じで表示されることがあります。これは、CD に書き込まれた映像の品質 (ビットレート値) が高いために CD の転送速度が間に合わずに起こる現象です。この現象が起きた場合は、DVD に書き込んで再生するか、映像の品質 (ビットレート値) を落として CD に書き込んだあと再生することをおすすめします。
- ・DVD-R や DVD+R は、ディスククローズに関係なく、一度ディスクに記録すると「かんたん換太郎」では追記できません。新たなブランクディスクをお使いください。  
「かんたん換太郎」で追記を行なう場合は、CD-R、または CD-RW/DVD-RW/DVD+RW などの書き換え可能型 DVD (ReWriteable DVD) をご使用ください。
- ・本機での再生時に問題が発生する DivX ファイルを、「ファイル形式」の無変換モードで書き込み (保存) しておくと、ファイルが最適化され、再生できる場合があります。DivX ファイルを本機で再生する場合は、無変換モードで最適化することをおすすめします。

### ■記録可能時間のめやす

「かんたん換太郎」でファイルを変換する場合、指定するファイル形式と品質モードによって、変換後のファイルサイズが異なります。変換したファイルをディスクに記録する場合は、おおよそ次の時間分の映像を記録できます。

ファイル形式	ディスク	品質モード				
		最高画質	高画質	標準	長時間	最長時間
MPEG	CD	約 10 分	約 15 分	約 20 分	約 25 分	約 35 分
	DVD	約 1 時間 10 分	約 1 時間 45 分	約 2 時間 10 分	約 3 時間	約 4 時間 15 分
DivX	CD	約 30 分	約 40 分	約 60 分	約 90 分	約 120 分
	DVD	約 3 時間 15 分	約 4 時間 40 分	約 6 時間 50 分	約 10 時間 10 分	約 13 時間 50 分

※上記の値は、CD が 650MB、DVD が 4.7GB の空き容量がある場合の記録可能時間です。

# 「かんたん換太郎」を使う

## ソフトウェアのインストール

「かんたん換太郎」をインストールします。お使いのOSによって表示される画面が異なりますが、ここでは Windows XP 環境での操作を例に説明します。

### ■インストールの前に

- ・現在起動しているすべてのアプリケーションや常駐ソフトウェアを終了してください。
- ・システム設定の変更を行なえる資格を持つユーザー ID (Administrator、コンピュータの管理者など) でログオンしてください。

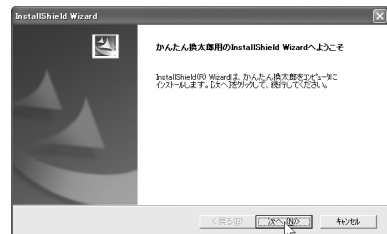
### 1 「かんたん換太郎」のCD-ROMをディスクドライブにセットする

「かんたん換太郎」のインストール画面が表示されます。

- ※ すべてのインストールが終了するまでCD-ROMをディスクドライブから取り出さないでください。
- ※ 画面が表示されない場合は、[スタート]メニューから[すべてのプログラム (Windows 2000 ではプログラム)] → [アクセサリ] → [エクスプローラ]と進み、CD-ROMを挿入したドライブをダブルクリックします。「かんたん換太郎」のCD内が表示されますので [SetupMgr.exe] をダブルクリックしてください。



### 2 右の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリックする



### 3 使用許諾契約の内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする

「かんたん換太郎」のインストールが始まります。インストール完了後は、手順4の画面が表示されます。

- ※ 同意できない場合は「いいえ」ボタンをクリックし、インストールを中断して当社カスタマーサポートまで書面でご連絡ください。なお、使用許諾契約に同意されない場合、本ソフトウェアはお使いいただけません。



### 4 「次へ」ボタンをクリックする



- 5** 「完了」 ボタンをクリックする  
「DivX Codec」のインストール画面が表示されます。



- 6** 「Next」 ボタンをクリックする



- 7** 「Next」 ボタンをクリックする

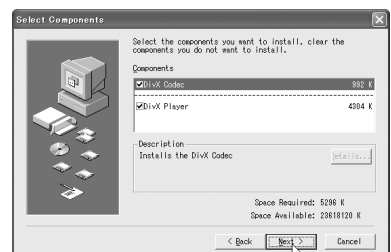


- 8** インストール先を確認してから「Next」 ボタンをクリックする

インストール先を変更する場合は、「Browse」ボタンをクリックしてインストール先を指定してから、「Next」ボタンをクリックしてください。



- 9** インストールするコンポーネントを選び、「Next」ボタンをクリックする



# 「かんたん換太郎」を使う

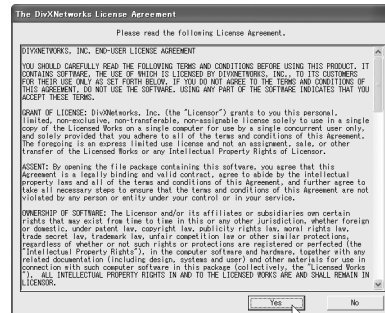
## 10 「Next」 ボタンをクリックする



## 11 使用許諾契約の内容に、同意する場合は「Yes」 ボタンをクリックする

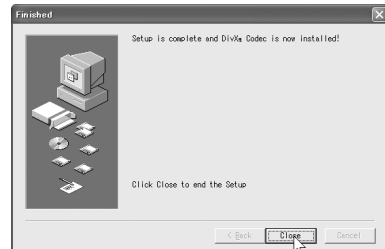
「DivX Codec」のインストールが始まります。インストール完了後は、手順12の画面が表示されます。

※ 同意できない場合は「No」ボタンをクリックし、インストールを中断して当社カスタマーサポートまで書面でご連絡ください。なお、使用許諾契約に同意されない場合、「DivX Codec」はお使いいただけません。



## 12 「Close」 ボタンをクリックする

「CL-driver」のインストール画面が表示されます。

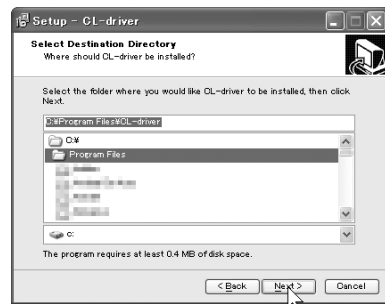


## 13 「Next」 ボタンをクリックする



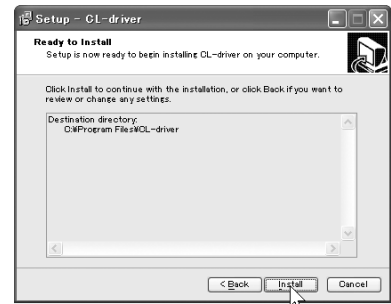
## 14 「Next」 ボタンをクリックする

インストール先を変更する場合は、インストール先を指定してから「Next」ボタンをクリックしてください。

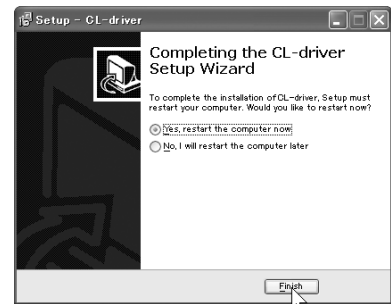


## 15 インストール先を確認してから「Install」ボタンをクリックする

「CL-driver」のインストールが始まります。インストール完了後は、手順 16 の画面が表示されます。



## 16 「Finish」ボタンをクリックする

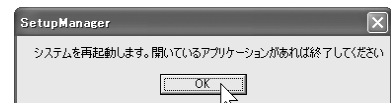


## 17 「OK」ボタンをクリックする

インストールが完了し、デスクトップにアイコンが表示されます。



## 18 「OK」ボタンをクリックする コンピュータが再起動します。



# 「かんたん換太郎」を使う

## ソフトウェアの削除

・使用しなくなったソフトウェアは、削除（アンインストール）できます。お使いのOSによって表示される画面が異なりますが、ここでは Windows XP 環境での「かんたん換太郎」の削除を例に説明します。

**1** 「スタート」メニューから「コントロールパネル」をクリックする



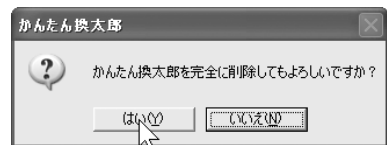
**2** 「プログラムの追加と削除」をクリックする



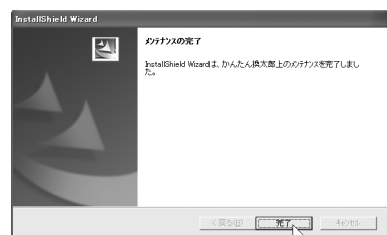
**3** 「Canopus かんたん換太郎」を選び、「変更と削除」ボタンをクリックする



**4** 「はい」ボタンをクリックする  
アンインストールが始まります。アンインストール完了後は、手順5の画面が表示されます。

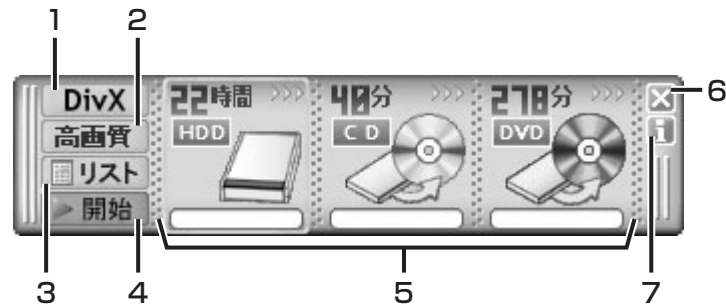


**5** 「完了」ボタンをクリックする



## 各部の名称とはたらき

### ■操作画面



#### 1. 「ファイル形式」ボタン

ファイルをどの形式に変換するかを選びます。ボタンを押すたびに、ファイル形式が次のように切り替わります。

DivX → MPEG (MPEG-2) → 無変換 → DivX → …

#### 2. 「品質」ボタン

映像の品質を設定します。ボタンを押すたびに品質モードが次のように切り替わります。

標準 → 高画質 → 最高画質 → 最長時間 → 長時間 → 標準 → …

※品質モードの各設定値については、「主な仕様」の「■「かんたん換太郎」の品質モード設定値」(89ページ)をご覧ください。

#### 3. 「リスト」ボタン

変換候補のファイルリストを表示します(「■候補ファイルリスト」81ページ)。

#### 4. 「開始」 / 「中止」ボタン

ファイルの変換(または書き込み)を開始します。変換(書き込み)中にクリックすると、変換(書き込み)を中止します。

#### 5. 出力先アイコン

変換(または書き込み)するファイルをアイコン上へドラッグして、出力先を選びます。CDやDVDのアイコン上で右クリックすると、書き込み速度や書き込みに使用するデバイスを設定できます(80ページ)。

また、各メディアの記録可能な時間(空き容量)を表示します。

※ご使用のコンピュータによっては、表示されないアイコン(出力先)があります。

※HDDのアイコンには、「マイドキュメント」があるデバイスの空き容量を表示します。

※書き込み速度は、各ドライブにディスクをセットしてから設定してください。

※記録可能な時間や空き容量は、小数点以下を切り捨てて表示します。

#### 6. 「閉じる」ボタン

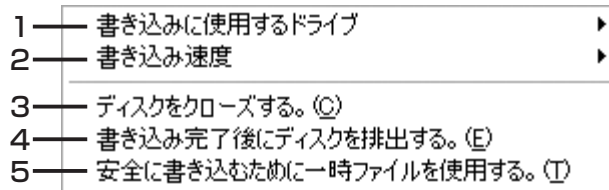
「かんたん換太郎」を終了します。

#### 7. バージョンボタン

現在のバージョンを表示します。

## 「かんたん換太郎」を使う

### ● 出力先アイコンを右クリックしたときの表示



#### 1. 書き込みに使用するドライブ

複数のディスクドライブを接続している場合、書き込むディスクが挿入されているドライブを選びます。

#### 2. 書き込み速度

ディスク書き込み時の速度を選びます。DVD と CD では選択できる書き込み速度が異なります。書き込みできるディスクがドライブに挿入されているときのみ設定できます。

#### 3. ディスクをクローズする。

書き込みが完了したディスクをクローズする場合、チェックを入れます。ディスクをクローズすると、追加で書き込みはできなくなります。

#### 4. 書き込み完了後にディスクを排出する。

書き込み完了後に自動的にディスクトレイを開く場合、チェックを入れます。

#### 5. 安全に書き込むために一時ファイルを使用する。

一時ファイルを作成して書き込む場合、チェックを入れます。

### MEMO

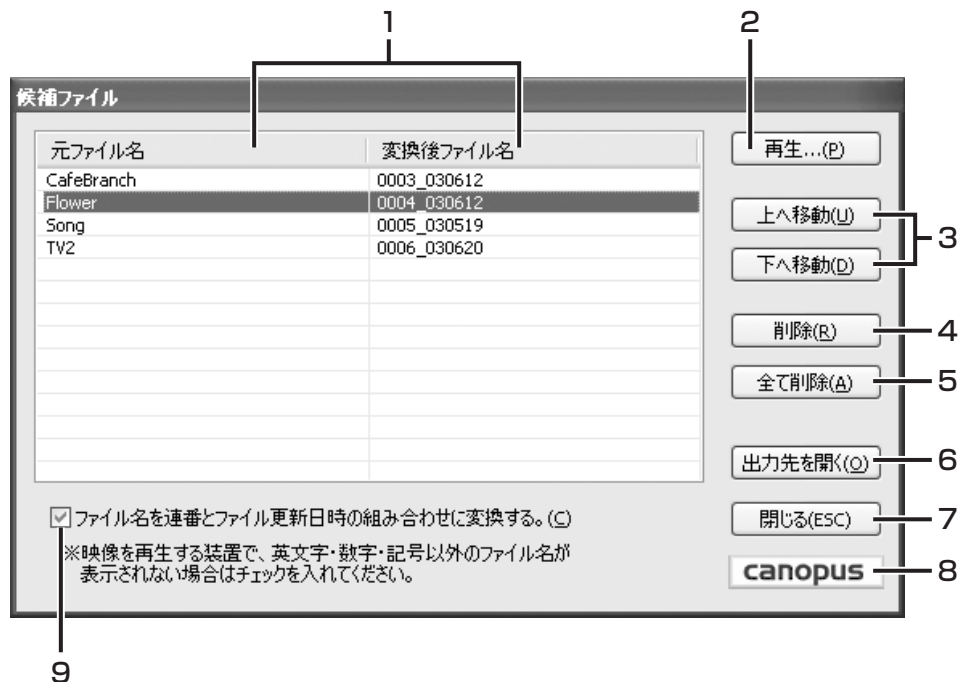
#### ディスクの書き込みについて

・ディスクの書き込み時、データ全体をいったんハードディスクにイメージファイル（一時ファイル）として書き込み、そのファイルを読み出してディスクに書き込む方法と、一時ファイルを作成せず、読み出したデータをそのままディスクに書き込む方法（オンザフライ書き込み）があります。

一時ファイルを作成しない場合、作業時間は短縮されますが、お使いのコンピュータの性能により書き込みに失敗することがあります。



## ■候補ファイルリスト



1. リスト  
元ファイル名と変換後のファイル名を表示します。
2. 再生ボタン  
選択したファイルを再生します。
3. 上へ移動ボタン / 下へ移動ボタン  
リストの順番を変更します。上へ移動ボタンは、選択したファイルを一つ上へ繰り上げます。下へ移動ボタンは、選択したファイルを一つ下へ繰り下げます。
4. 削除ボタン  
選択したファイルをリストから削除します。
5. 全て削除ボタン  
リスト上のファイルをリストからすべて削除します。
6. 出力先を開くボタン  
出力先のフォルダ（ディスク）を開き、その内容を表示します。
7. 閉じるボタン  
候補ファイルリストを閉じます。
8. アクセスボタン  
インターネットに接続できるコンピュータをお使いの場合、Canopusのホームページを表示します。
9. チェックボックス  
チェックを入れると、変換後のファイル名を連番と元ファイルの更新日時の組み合わせに変更します。チェックを外すと元のファイル名をそのまま使用します。

例) 0325\_040422

連番 ———— ↑ ———— ↑ ———— 元ファイルの更新日時

※元のファイル名を使用する場合、同名のファイルについてはファイル名末尾に (2) (3) …と番号を付けて区別します。

# 「かんたん換太郎」を使う

## 使いかた

### ■操作する前に！

- ・システム設定の変更を行なえる資格を持つユーザー ID (Administrator、コンピュータの管理者など) でログオンしてください。
- ・ファイルを CD や DVD などのディスクに記録する場合は、各ドライブ (CD-R/-RW ドライブや DVD-R/-RW/+R/+RW ドライブ) に書き込み用のディスクをセットしておきます。
- ・「かんたん換太郎」の操作画面は、コンピュータが起動すると自動的に表示されます。表示されない場合は、「かんたん換太郎」のアイコンをダブルクリックしてください。



かんたん換太郎

### 1 「ファイル形式」 ボタンをクリックしてファイル形式を選ぶ

ボタンをクリックするたびに、ファイル形式が切り替わります。

- 各ドライブで記録可能な時間 (空き容量) が出力先アイコンに表示されます。



### 2 「品質」ボタンをクリックして品質を設定する

「品質」ボタンをクリックするたびに、映像の品質モードが切り替わります。

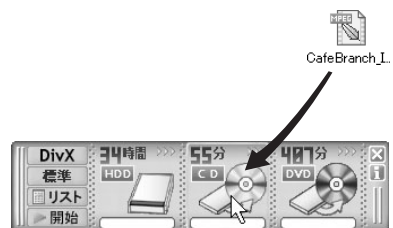
- 各ドライブで記録可能な時間 (空き容量) が出力先アイコンに表示されます。
- 画質が高いほど、記録できる時間が短くなります。また、記録時間が長いほど画質が低下します。
- ファイル形式が「無変換」の場合は、品質を選べません。



### 3 変換 (または書き込み) するファイルをドライブのアイコンの上へドラッグする

変換 (書き込み) するファイルがリストに登録されます。複数のファイルを登録できます。

- HDD にドラッグした場合、変換後のファイルは「マイドキュメント」の「マイビデオ」に保存されます。
- ファイルを追加するたびに、各ドライブの記録可能な時間 (空き容量) がファイルサイズ分減っていきます。(DivX、MPEG に変換する場合は、変換後のファイルサイズが予測され、そのサイズ分減っていきます。)



### 4 「リスト」 ボタンをクリックする

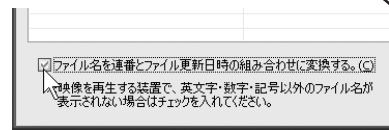
ドラッグしたファイルのリストが表示されます。

- リストにファイルを追加したいときは、リスト上にファイルをドラッグしてください。



## 5 ファイル名を選ぶ

元のファイル名をそのまま使うか、数字に置き替えるかを選びます。本機で再生する場合は、「ファイル名を連番とファイル更新日時の組み合わせに変換する。」にチェックを入れます。



## 6 「閉じる」ボタンをクリックする

リストが閉じます。

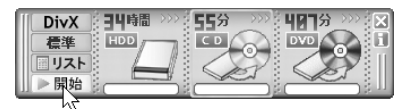


## 7 「開始」ボタンをクリックする

ファイルの変換（または書き込み）が始まります。作業中は、アイコンの「■」が点滅し、「変換中」（または「書き込み処理中」と表示されます。

- リストにファイルが登録されていない場合や、各ディスクの空き容量が足りない場合は、変換（書き込み）を開始できません。
- 変換（書き込み）を中止する場合は、中止ボタンをクリックします。

変換（または書き込み）が完了すると完了のメッセージが表示されます。



### ■変換・書き込み中のエラーメッセージ

「このファイルは、変換後の容量が4GBを超える可能性があります。処理を開始することができません。」

「開始」ボタンを押したときに上記のメッセージが表示される場合は、変更後のファイルサイズ（単体）が4GBを超える可能性があるため、ディスクへの書き込みができません。

変換後のファイルが4GBを超えないよう、次のように調整してください。

- ・「かんたん換太郎」のファイル形式や品質モードを変更する
- ・元ファイルを分割する

「ディスクへの書き込みを正常に開始することができませんでした。」

書き込み中に上記のメッセージが表示される場合は、なんらか（ファイルやディスクに異常がある等）の理由により書き込みが開始できません。



# その他

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、修理をご依頼になる前に以下の点をご確認ください。

症状	原因	対処	参照ページ	
プ レ ー ヤ ー 本 体	電源スイッチを押しても電源が入らない	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを正しく接続してください。	—
	ディスクが再生できない	ディスクがセットされていない。	ディスクをセットしてください。	17
		ディスクが裏返しにセットされている。	ディスクのラベル面を上にして正しくセットしてください。	17
		ディスクがトレイに正しくセットされていない。	ディスクをトレイのくぼみに合わせて正しくセットしてください。	17
		本機で再生できないディスクがセットされている。	ディスクが本機で再生できるかどうか確認してください。	2 3
視聴制限（パレンタルロック）がかかっている。	機能設定の「パレンタル」で、制限レベルを変更してください。	71		
画像が出ない	テレビと正しく接続されていない。	接続を確認し、正しく接続してください。	12 ~ 14	
	テレビが正常に動作していない。	テレビが正常に動作しているか確認してください。	—	
	本機の「TVタイプ」設定がご使用のテレビと合っていない。	機能設定の「TVタイプ」をご使用のテレビに合わせてください。	70	
音が出ない	テレビやAVアンプと正しく接続されていない。	接続を確認し、正しく接続してください。	12 ~ 16	
	テレビやAVアンプが正常に動作していない。	テレビやAVアンプが正常に動作しているか確認してください。	—	
	本機のオーディオ出力設定が正しく行なわれていない。	機能設定の「オーディオ設定をすす」で、各設定を正しく行なってください。	59 ~ 66	
	ミュートがオンになっている。	ミュートボタンを押し、ミュートをオフにしてください。	10	
画像が乱れる	ディスクに傷や汚れ、ゆがみがある。	ディスクを点検してください。	2	
	コピープロテクション機能がはたらいている。	本機とテレビを直接接続してください。	12	

故障かな？と思ったら

症状	原因	対処	参照ページ	
プ レ ー ヤ ー 本 体	画像が乱れる	携帯電話など、電波の発生する機器を本機の近くで使用している。	本機から離して使用してください。	—
		早送り、早戻しを行なっている。	早送り、早戻しをすると画像が多少乱れることがあります。本機の故障ではありません。	19
	画面の上下が欠けたり、縦または横にのびる	本機の「TV表示」設定が正しく行なわれていない。	機能設定の「TV表示」で、設定を正しく行なってください。	57
	字幕が出ない	字幕の入っていないディスクを再生している。	字幕の入っていないディスクは字幕が表示されません。	34
		字幕設定がオフになっている。	リモコンの字幕ボタンを押し、字幕を表示させてください。	34
	音声、字幕の言語が切り替えられない	複数の音声、字幕言語の入っていないディスクを再生している。	複数の音声、字幕言語の入っていないディスクは言語を切り替えられません。	33 34
	リモコンがはたらかない	リモコンに乾電池が入っていない、または乾電池が切れている。	新しい乾電池を入れてください。	7
		乾電池の極性（+/-）が逆になっている。	乾電池を正しく入れてください。	7
リモコンと本機の間が離れすぎている。		リモコンの動作範囲内で操作してください。	7	
リモコンと本体の間に障害物がある。		障害物を取り除いてください。	7	
「かんたん換太郎」	インストールできない	他のアプリケーションソフトが起動している。	すべてのアプリケーションソフトを終了させてからもう一度インストールしてください。	74
		システム設定の変更を行なえないユーザー ID でログオンしている。	管理者またはシステム設定の権限を持ったユーザー ID でログオンし直してください。	74
	操作画面に CD や DVD のアイコンが表示されない	使用しているディスクドライブが書き込み対応でない。	CD や DVD のアイコンは、ディスクドライブが書き込み対応のときのみ表示されます。	73

## その他

症状	原因	対処	参照ページ
「かんたん交換太郎」	操作画面の「開始」ボタンがクリックできない	変換するファイルが候補ファイルリストに登録されていない。	82
		記録可能時間または空き容量がマイナス表示されている。	81
	ファイルが変換できない	変換できないファイルを変換しようとした。	73
	ファイルがディスクに書き込めない	書き込みできないディスクを使用している。	73
		ディスクドライブに対応したディスクを使用していない。	—
	ディスクの容量が不足している。	十分な空き容量のあるディスクを使用してください。	83
ファイルがディスクに追記できない	追記できないディスクを使用している。	追記できるディスク（CD-R/-RW、DVD-RW、DVD+RW）を使用してください。	73

以上をご確認いただいても正常に動作しない場合は、以下の当社サポート窓口までお問い合わせください（保証規定については保証書をご覧ください）。

### ■操作方法などの使い方のお問い合わせは

テクニカルサポート TEL.078-992-6830  
 サポートフォーラムページ <http://www.canopus.co.jp/forum>  
 サポート&サービス [FAQ] ページ <http://www.canopus.co.jp/tech/faq/faq.htm>

### ■修理状況のご確認や保守部品のお問い合わせは

カスタマーサポート TEL.078-992-5846

### ■修理のご依頼は

テクニカルサポート TEL.078-992-6830

※塗装のはがれ、傷、コネクタ類の破損は無償保証の範囲外となります。

初期不良を除き、コネクタ等が破損した場合の交換には、実費および手数料を請求させていただきます。

### ■修理をご依頼される際は、以下の情報をご連絡ください。

- 製品名
- シリアル番号
- ご氏名
- ユーザーID
- ご住所
- 電話・FAX番号
- 不具合の具体的な内容

### ■ユーザー登録カード・ユーザー登録控え兼製品保証書について

本製品に関するさまざまなサービスをお受けいただくために、ぜひユーザー登録を行なってください。

ユーザー登録カードの各項目に必要な事項を記入し、ユーザー控えの部分を切り離して切手を貼らずにポストへ投函してください。切り離れたユーザー控えは、ご購入いただきました製品の所有者であることを証明するものになりますので、本書と併せて大切に保管してください。

また、本製品は当社ホームページにおいてオンラインユーザー登録も承っております。詳しくはオンラインユーザー登録ページ (<http://www.canopus.co.jp/tech/regist.htm>) をご覧ください。

本製品の保証書は、ユーザー登録カード・ユーザー登録控えとの兼用となっています。ユーザー登録控え兼製品保証書は、製品の動作確認や修理をお受けいただく際に必要となります。紛失された場合でも再発行はいたしませんので、大切に保管してください。

### ■製品の最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

Canopus ホームページ <http://www.canopus.co.jp>

## その他

### 主な仕様

#### ■本体部

電源	AC100～250V 50/60Hz
消費電力	25W
重量	2.6kg
外形寸法	430mm（幅）×63mm（高さ）×265mm（奥行）
信号方式	NTSC/PAL/MULTI
レーザー	半導体レーザー 波長650nm/780nm
音声周波数特性	DVD リニア音声 48kHz サンプリング：20Hz～20kHz 96kHz サンプリング：20Hz～20kHz CD : 20Hz～20kHz
ダイナミックレンジ	85dB 以上
使用条件	温度：0℃～40℃ 動作姿勢：水平
対応メディア	DVD-Video、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-ROM、ビデオCD、音楽CD、CD-R、CD-RW、CD-ROM、スーパービデオCD、Kodak Picture CD
再生可能ファイル形式	MPEG-1、MPEG-2、MP3、DivX、XviD、WMA（CBR/VBR）、JPEG

#### ■端子部

映像出力	1.0Vp-p、75Ω ピンジャック×1
Sビデオ出力	(Y) 1.0Vp-p、75Ω (C) 0.286Vp-p、75Ω ミニDIN4ピン×1
コンポーネントビデオ出力	(Y) 1.0Vp-p、75Ω (Cb/Pb、Cr/Pr) 0.7Vp-p、75Ω ピンジャック×3
光デジタル音声出力	光コネクタ×1
同軸デジタル音声出力	0.5Vp-p ピンジャック×1
アナログ音声出力	2.0Vrms ピンジャック×6 (5.1ch出力対応)



■ 「かんたん換太郎」の品質モード設定値

品質モード	項目	MPEG	DivX
最高画質	映像サイズ	720 × 480	720 × 480
	映像ビットレート	8Mbps	2459kbps
	音声ビットレート	256kbps	320kbps
	サンプリング周波数	48kHz	48kHz
	チャンネル	ステレオ	ステレオ
高画質	映像サイズ	720 × 480	720 × 480
	映像ビットレート	5Mbps	1930kbps
	音声ビットレート	256kbps	160kbps
	サンプリング周波数	48kHz	48kHz
	チャンネル	ステレオ	ステレオ
標準	映像サイズ	480 × 480	528 × 352
	映像ビットレート	4Mbps	1269kbps
	音声ビットレート	256kbps	128kbps
	サンプリング周波数	48kHz	48kHz
	チャンネル	ステレオ	ステレオ
長時間	映像サイズ	352 × 480	352 × 240
	映像ビットレート	3Mbps	805kbps
	音声ビットレート	256kbps	128kbps
	サンプリング周波数	48kHz	48kHz
	チャンネル	ステレオ	ステレオ
最長時間	映像サイズ	352 × 240	352 × 240
	映像ビットレート	2Mbps	604kbps
	音声ビットレート	256kbps	96kbps
	サンプリング周波数	48kHz	48kHz
	チャンネル	ステレオ	モノラル

## 索引

### 英数字

3D プロセッシング .....	64
5.1 チャンネル .....	16
□□ DRC .....	63
□□ 設定 .....	62
A-B リピート再生 .....	28, 41
AV アンプとの接続 .....	15
DivX/XviD .....	38
Dolby Pro Logic II .....	37
DTS サラウンド .....	15
DVD-Video .....	3
JPEG .....	47
Kodak Picture CD .....	47
LPCM 出力 .....	62
MP3 .....	38
MPEG .....	38
NTSC 方式 .....	70
OSD 言語 .....	57
PBC 機能 .....	4, 70
SPDIF 設定 .....	61
S ビデオ接続 .....	13
TV 表示 .....	57
VR モード .....	3
WMA .....	38
YC ディレイ .....	69

### あ行

アナログ接続 .....	15
アングル .....	35
アングルマーク .....	35, 57
イコライザ .....	63
一時停止 .....	20, 42
インタレース .....	37, 67
映像アスペクト比 .....	4
エラーメッセージ .....	83
オートパワーオフ機能 .....	18
音楽 CD .....	3
音声記録方式 .....	4
音声言語 .....	33, 70
音声出力の切り替え .....	33

### か行

拡張子 .....	38, 47
各部の名称 .....	8
画像の一覧表示 .....	50
画像の拡大 / 縮小表示 .....	49
画像の反転 / 回転表示 .....	49
「かんたん換太郎」のインストール .....	74
「かんたん換太郎」の使いかた .....	82
乾電池 .....	7
ガンマ .....	68
機能設定 .....	55
キャプション .....	57
記録可能時間 .....	73
「禁止」アイコン .....	17
クリアブースト .....	64
グループ .....	5
結露 .....	1
コピープロテクション .....	12
コマ送り再生 .....	20
コントラスト .....	68
コンポーネント .....	67
コンポーネントビデオ接続 .....	14
コンポジットビデオ接続 .....	12

### さ行

サーチ .....	23, 29
再生できるディスク .....	3
サチュレーション .....	68
サブタイトル (字幕) .....	4
色調 .....	68
視聴制限 .....	71
シネマモード .....	37, 65
字幕言語 .....	34, 70
シャープネス .....	67
シャッフル再生 .....	43, 51
出力遅延設定 .....	63
使用できないディスク .....	2
シングル時間表示 .....	22
シングル残り時間表示 .....	22
スーパーバス .....	64

スーパービデオ CD ..... 3  
 ズームガイド ..... 36  
 ズーム再生 ..... 36  
 スクリーンセーバー ..... 18, 58  
 スライドショー ..... 52  
 センターウィズス ..... 65

**た行**

ダイアログ ..... 60  
 タイトル ..... 5  
 タイトル時間表示 ..... 22  
 タイトル時間 ..... 23, 29  
 タイトル残り時間表示 ..... 22  
 タイトル番号 ..... 23, 29  
 ダウンミックス ..... 59  
 チャプター ..... 5  
 チャプター時間 ..... 23, 29  
 チャプター番号 ..... 23, 29  
 チャプタ時間表示 ..... 22  
 チャプタ残り時間表示 ..... 22  
 データディスクの作成 ..... 38  
 ディスク時間 ..... 30  
 ディスク情報画面 ..... 21, 22, 23  
 ディスクの構成 ..... 5  
 ディスクの再生 ..... 17  
 ディスクへの書き込み ..... 38  
 ディスクメニュー ..... 71  
 ディメンジョン ..... 65  
 デジタル接続 ..... 16  
 テストトーン ..... 60  
 デフォルト ..... 71  
 デュアルモノラル ..... 62  
 テレビとの接続 ..... 12  
 トータル時間表示 ..... 22  
 トータル残り時間表示 ..... 22  
 トップメニュー ..... 24  
 飛び越し再生 ..... 26, 42  
 トラック ..... 5  
 トラック時間 ..... 30  
 トラック番号 ..... 30  
 ドルビーデジタルサラウンド ..... 15

**は行**

バーチャルサラウンド ..... 59  
 バスブースト ..... 64  
 パスワード設定 ..... 72  
 パスワードモード ..... 72  
 パノラマモード ..... 65  
 早送り / 早戻し ..... 19, 41  
 ビデオ CD ..... 3, 25  
 表示部 ..... 9  
 ファイルの再生 ..... 40  
 ファイル名 ..... 38  
 ファイルリスト画面 ..... 39  
 フォルダ名 ..... 38  
 ブライトネス ..... 67  
 プレイモード ..... 43, 51  
 プレイリスト ..... 45  
 プログラム再生 ..... 31, 45, 52  
 プログレッシブ ..... 37, 67  
 プログレッシブ再生 ..... 37  
 プログレッシブ対応テレビとの接続 ..... 14  
 ポスト DRC ..... 61  
 本機のお手入れ ..... 1

**ま行**

マルチアングル ..... 4  
 マルチセッション記録 ..... 38  
 マルチボーダー記録 ..... 38  
 ミュージックモード ..... 37, 65  
 メニュー ..... 24, 25

**ら行**

ラストメモリ ..... 18, 58  
 ランダム再生 ..... 43, 52  
 リージョン番号 ..... 3, 4  
 リバースモード ..... 66  
 リピート再生 ..... 27  
 リモコン ..... 7  
 リモコンの有効範囲 ..... 7

**わ行**

ワイドテレビ ..... 12

## その他

### 製品のお問い合わせ窓口について

本製品のお問い合わせは、下記の窓口にて受け付けております。電話番号は、お間違えのないようにおかけください。

#### ■カスタマーサポート窓口 TEL.078-992-5846

〒651-2241 神戸市西区室谷 1-2-2

カノープス株式会社 カスタマーサポート宛

10:00～12:00/13:00～17:00（土日祝日、当社指定休日は除く）

※修理状況のご確認や保守部品に関するご質問承り窓口です。

#### ■テクニカルサポート窓口 TEL.078-992-6830

10:00～12:00/13:00～17:00（土日祝日、当社指定休日は除く）

※修理のご依頼や製品の使用方法に関するご質問承り窓口です。